

**長野県民の結婚・出産・子育て
に関する意識調査**

報告書

令和2年9月

長野県将来世代応援県民会議

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査設計	1
(3) 回答者基本属性	1
(4) 回答者の結婚等に対する意向・実態	1
2. 調査結果	1
(1) 婚姻状況	2
(2) 独身者の結婚に対する意識	3
(3) 既婚者の結婚生活の状況	2120
(4) 働き方に関する現状	2221
(5) 出産や子育てに関する意識と現状	2423
附属資料（調査票）	5655

<報告書の見方>

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。回答がない場合には、0.0 の表示は省略している。
- 母数はその質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- nが30未満の結果については、サンプル数が少ないため、参考値扱いとなる。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（回答は1つ）の場合と複数回答（回答はいくつでも）の場合、数値を記入する場合とがある。複数回答の問の場合には、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがある。
- 比率の差を比較して統計的に有意な差（有意水準5%）がある結果を中心にコメントを記載している。

■検定・ポイント差情報		
比率の差の検定		有意水準 5%で高い
対 TOTAL 行と比較した結果を数表に表示		
※経年比較の場合は、対令和2年度調査(今回調査)と比較		有意水準 5%で低い

- 女性18～34歳の結果を記載しているところは、「希望出生率」の算出根拠となる問である。「希望出生率」とは、若い世代における、結婚、妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合に想定される出生率を指し、以下の式によって算出される。

$$\begin{aligned}
 \text{希望出生率} &= (\text{女性18～34歳の有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定する子どもの数} \\
 &+ \text{女性18～34歳の独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \\
 &\times \text{独身者の希望する子どもの数}) \\
 &\times \text{離死別等の影響}
 \end{aligned}$$

1. 調査概要

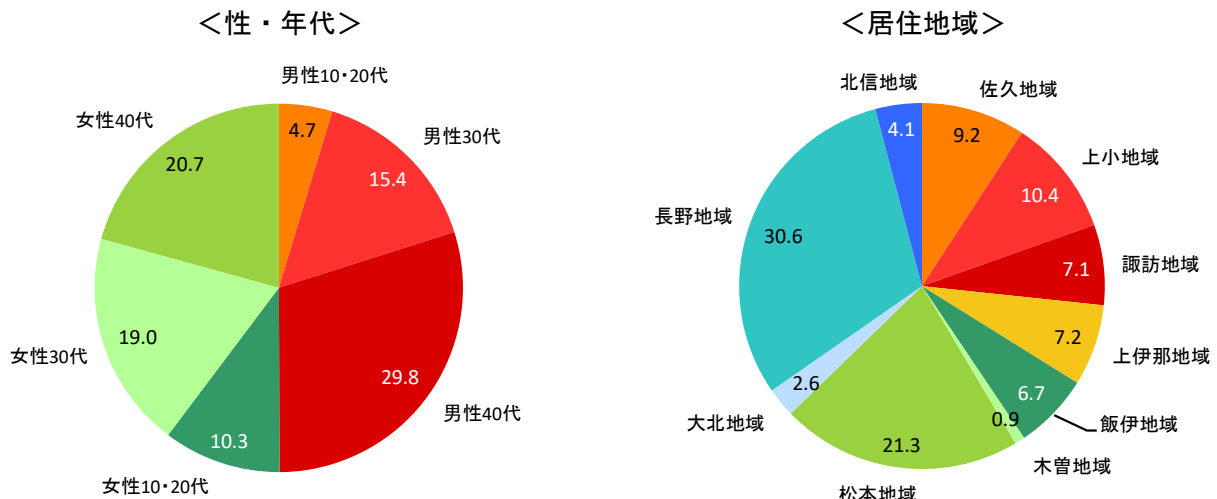
(1) 調査目的

長野県民の結婚・出産・子育てに対する意識や希望を調査し、「長野県将来世代応援県民会議」における事業の方向性の決定や「しあわせ信州創造プラン 2.0（長野県総合5か年計画）」、「長野県子ども・若者支援総合計画」等の評価指標の検証に活用する。

(2) 調査設計

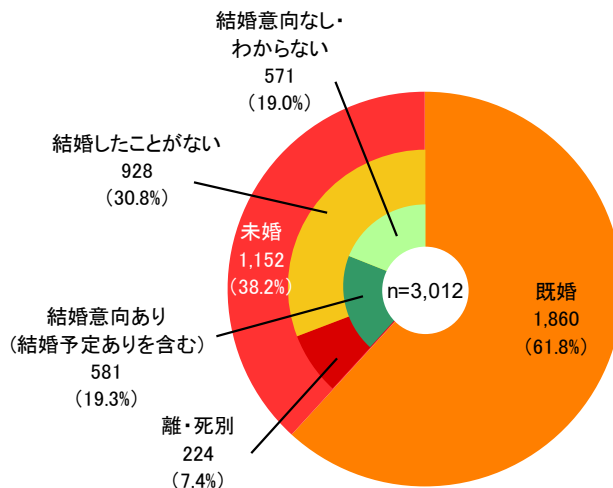
調査方法	インターネット調査
調査対象	以下の条件に該当する者を、インターネットモニター（マイティモニター）より抽出した。 <対象者条件> ・性別・年齢：18～49歳男女 ・居住地域：長野県 ・長野県の性・年代構成に近くなるように回収を行う。
有効回収数	3,012
調査実施時期	令和2年7月16日～令和2年7月22日

(3) 回答者基本属性



※いずれも n=3,012 単位 (%)

(4) 回答者の結婚等に対する意向・実態



2. 調査結果

(1) 婚姻状況

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

既婚者の割合は61.8%、独身者の割合は38.2%である。

性・年代別にみると、10代～30代では女性は男性よりも結婚している割合が高くなっている。

■ 現在、結婚(事実婚を含む)している ■ 結婚していたが、現在は離・死別した ■ 結婚したことはない

		n=	(%)		
	TOTAL	3012	61.8	7.4	30.8
* 性別 × 年代	■ 男性 計	1506	61.1	5.7	33.2
	10・20代	142	25.4	74.6	
	30代	465	62.8	3.7	33.5
	40代	899	65.9	7.7	26.5
	■ 女性 計	1506	62.4	9.2	28.4
	10・20代	310	41.0	1.6	57.4
	30代	573	70.7	7.2	22.2
	40代	623	65.5	14.8	19.7

(2) 独身者の結婚に対する意識

問5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)
【回答者：独身者】

独身者の結婚意向としては、「いずれは結婚したい」が30.6%、「2・3年以内に結婚したい」が8.9%である。「すでに結婚する予定がある」、「すぐにも結婚したい」と合わせると、5割(50.3%)は結婚意向があると回答している。

「わからない」の回答を除いた場合、結婚意向は70.1%となり、性・年代別にみると、女性10・20代の結婚意向が最も高く(84.7%)、女性40代の結婚意向が最も低い(51.0%)。

また、希望出生率の算出根拠となる「女性18-34歳」では、結婚意向は86.4%であった。

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない
- わからない

		n=						(%)
TOTAL		1152	2.6	8.2	8.9	30.6	21.5	28.0

<「わからない」の回答を除いた場合>

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

		n=						(%)
TOTAL		829	3.6	11.5	12.4	42.6	29.9	
* 性別 × 年代	■男性 計	411	2.4	11.9	10.0	46.0	29.7	
	10・20代	80	3.8	6.3	18.8	50.0	21.3	
	30代	131	3.1	7.6	9.2	54.2	26.0	
	40代	200	1.5	17.0	7.0	39.0	35.5	
	■女性 計	418	4.8	11.0	14.8	39.2	30.1	
	10・20代	144	4.9	8.3	20.1	51.4	15.3	
	30代	127	5.5	16.5	18.1	34.6	25.2	
	40代	147	4.1	8.8	6.8	31.3	49.0	

<女性18-34歳の場合> (希望出生率の算出根拠)

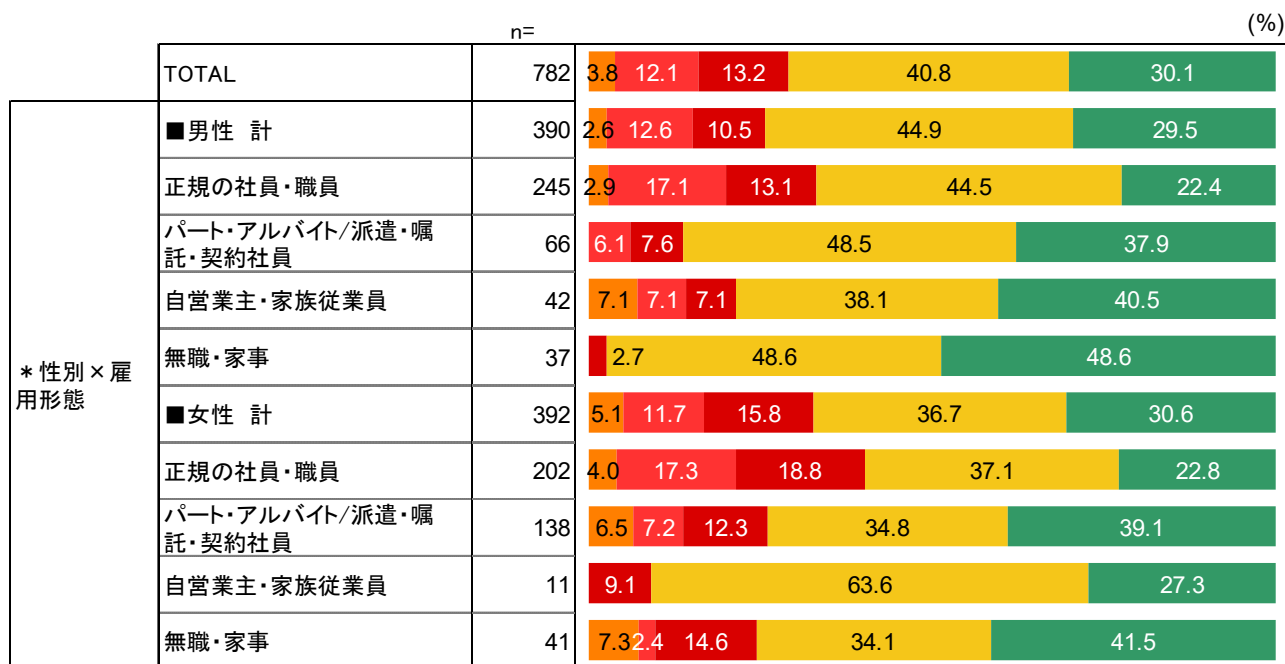
- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

		n=						(%)
女性18-34歳		206	5.3	11.2	20.4	49.5	13.6	

性・雇用形態別にみると、男女とも正規の社員・職員では、結婚意向があると回答した割合は8割弱である。男性の無職・家事では、他の性・雇用形態に比べて「結婚するつもりはない」が約5割と高い。

10代～30代の場合、「結婚するつもりはない」は、男性のパート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員で36.6%と高くなっている。

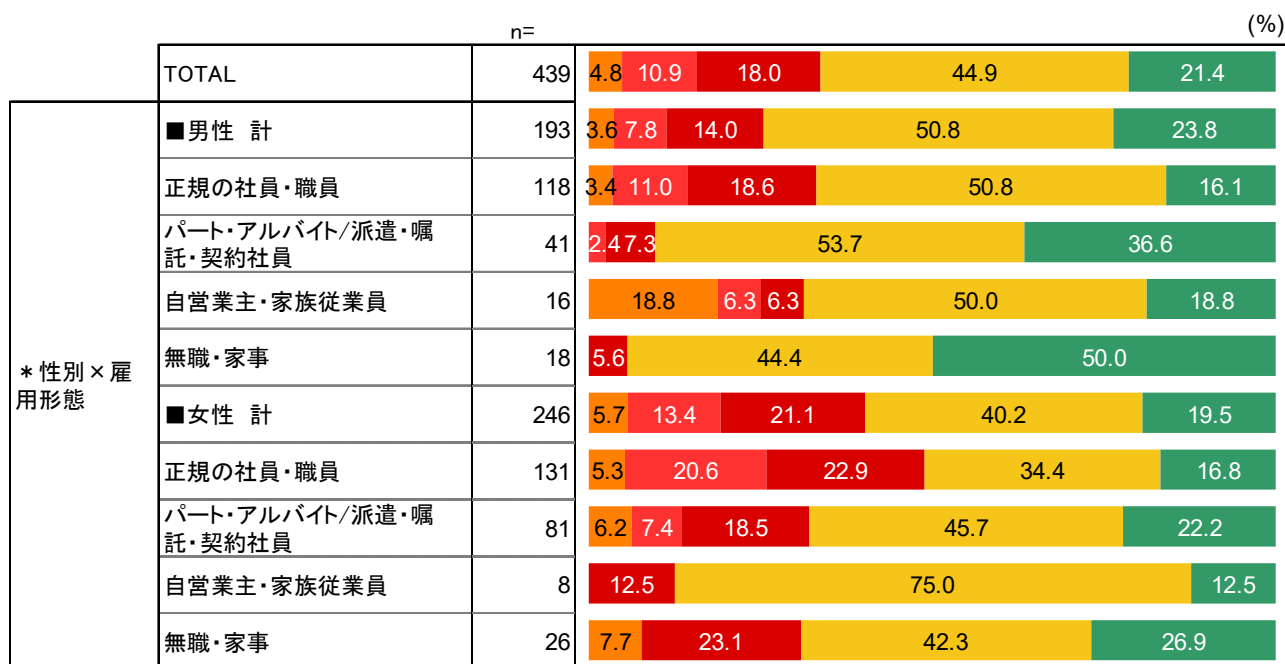
- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



※「学生39人」「その他8人」を除いて計算している。

<10代～30代の場合>

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

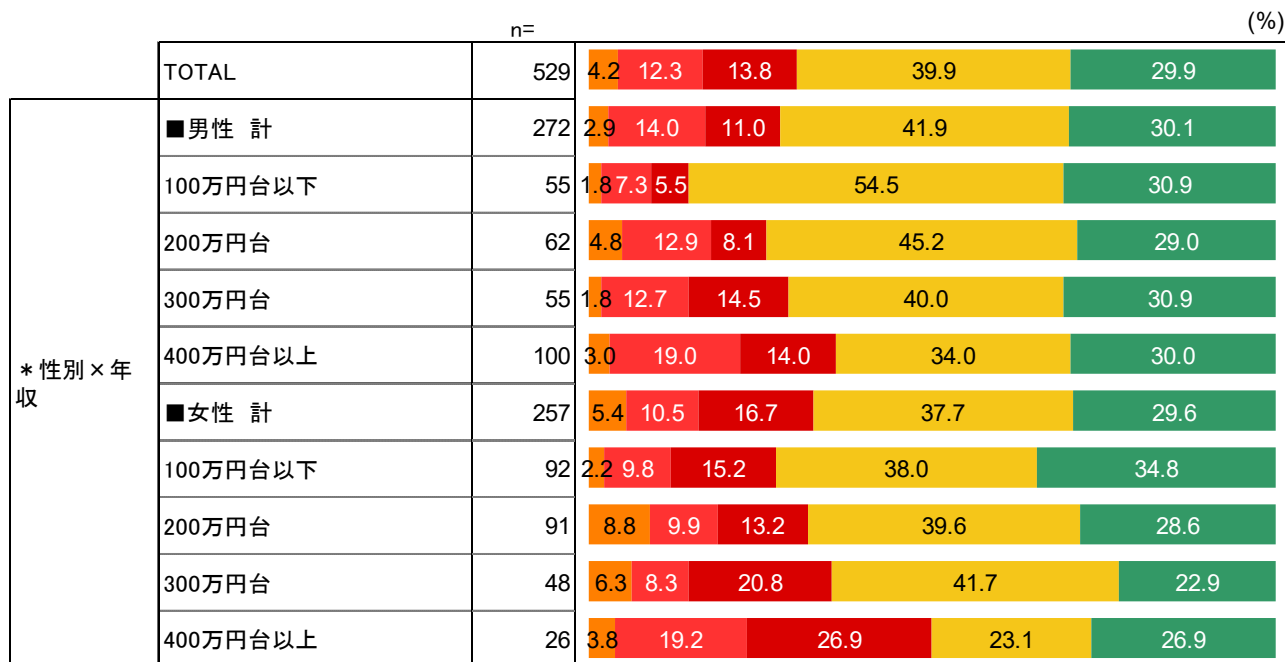


※「学生38人」「その他5人」を除いて計算している。

性・年収別にみると、女性では「結婚するつもりはない」の割合が、年収100万円台以下では34.8%と高くなっている。

10代～30代の場合、男性の100万円台以下では、「結婚するつもりはない」が41.7%と高くなっている。

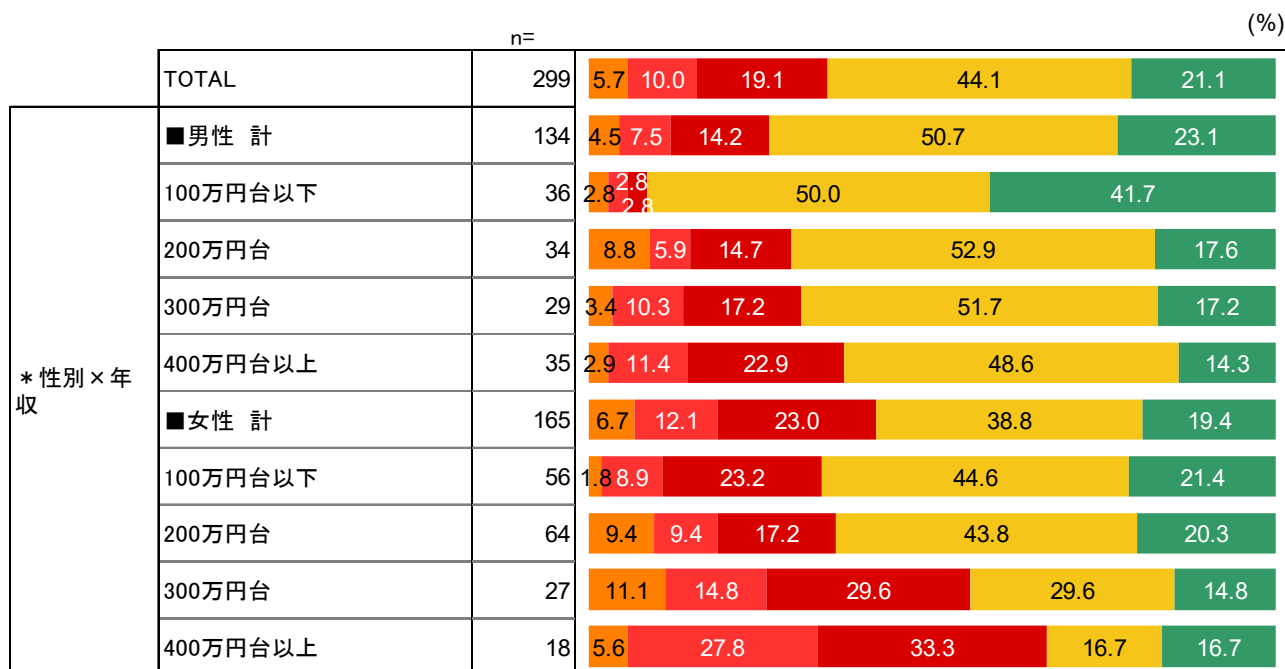
- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



※「学生39人」「その他8人」「無職・家事78人」、年収が「分からない・覚えていない175人」を除いて計算している。

<10代～30代の場合>

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



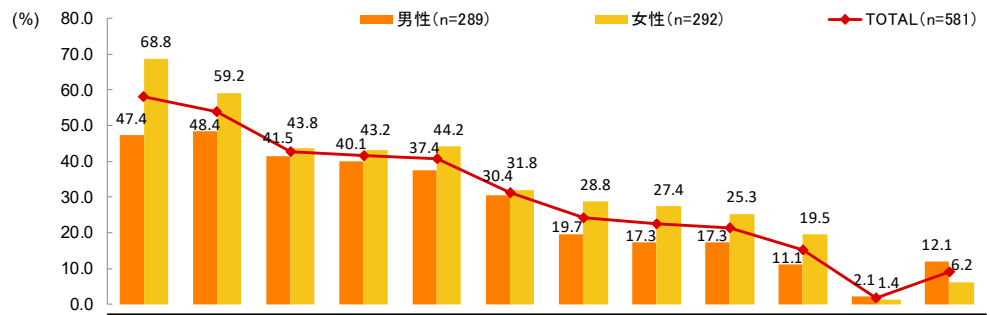
※「学生38人」「その他5人」「無職・家事44人」、年収が「分からない・覚えていない96人」を除いて計算している。

問6 あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。
 (回答はいくつでも) 【回答者：結婚予定・意向がある者】

結婚を考えたときに気になることとしては、「相手の両親とうまく付き合えるか」(58.2%)が最も高く、以下、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(53.9%)、「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」(42.7%)と続く。

性・年代別にみると、女性のほうが結婚にあたって気になることを多く挙げており、特に「相手の両親とうまく付き合えるか」(68.8%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(59.2%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(28.8%)、「住む場所が制約されないか」(27.4%)、「ファッションや食べ物などの好み制約されないか」(25.3%)といった項目の割合が高いことから、ライフスタイルの変化に対する懸念が強いことがうかがえる。

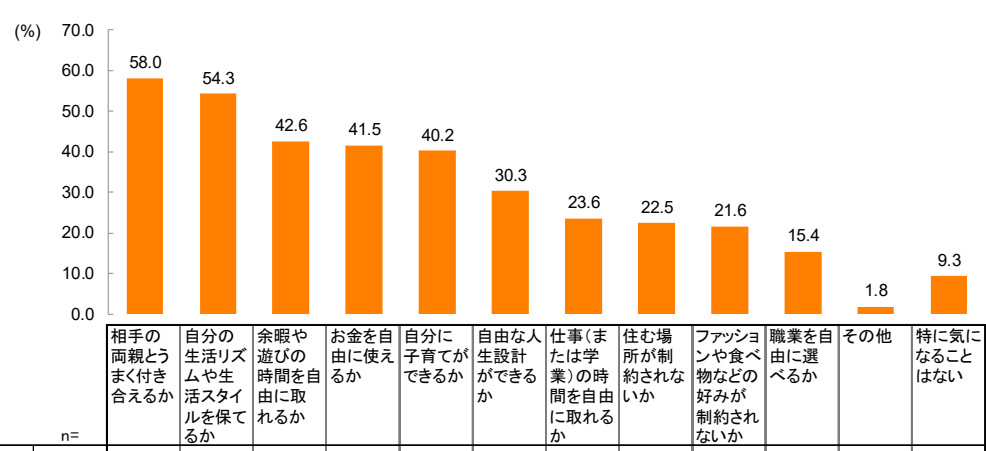
また、男性10・20代では「自由な人生設計ができるか」(42.9%)、女性30代では「お金を自由に使えるか」(50.5%)が高くなっており、結婚に伴うイメージとして制約に対する懸念がみられる。女性10・20代では「自分に子育てができるか」(58.2%)が高くなっており、ほかの年代よりも結婚と出産・育児を結び付けて考えているとみられる。



		n=	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自分に子育てができるか	お金を自由に使えるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好み制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気にならない
TOTAL		581	58.2	53.9	42.7	41.7	40.8	31.2	24.3	22.4	21.3	15.3	1.7	9.1
*性別×年代	■男性 計	289	47.4	48.4	41.5	40.1	37.4	30.4	19.7	17.3	17.3	11.1	2.1	12.1
	10・20代	63	42.9	46.0	54.0	46.0	38.1	42.9	28.6	19.0	19.0	12.7	1.6	9.5
	30代	97	53.6	50.5	42.3	49.5	41.2	28.9	18.6	23.7	19.6	14.4	2.1	11.3
	40代	129	45.0	48.1	34.9	30.2	34.1	25.6	16.3	11.6	14.7	7.8	2.3	14.0
	■女性 計	292	68.8	59.2	43.8	43.2	44.2	31.8	28.8	27.4	25.3	19.5	1.4	6.2
	10・20代	122	73.0	59.8	47.5	58.2	40.2	33.6	30.3	27.0	23.0	21.3	0.8	1.6
	30代	95	71.6	63.2	49.5	46.3	50.5	34.7	28.4	29.5	28.4	18.9	2.1	4.2
	40代	75	58.7	53.3	30.7	14.7	42.7	25.3	26.7	25.3	25.3	17.3	1.3	16.0

※グラフはTOTALの順でソート

性・雇用形態別にみると、女性の正規の社員・職員は「相手の両親とうまく付き合えるか」(65.4%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(62.8%)が高くなっている。

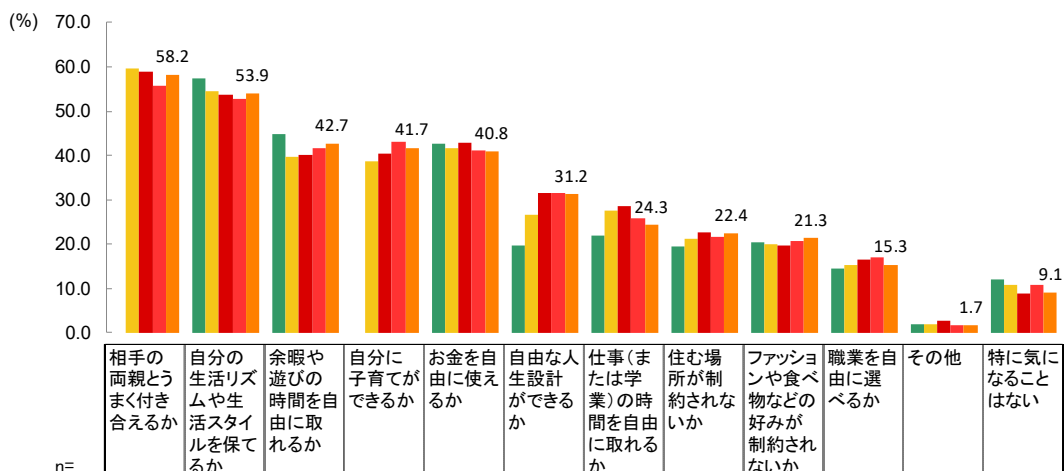


		n=	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	お金を自由に使えるか	自分に子育てができるか	自由な学生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好みがないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL		547	58.0	54.3	42.6	41.5	40.2	30.3	23.6	22.5	21.6	15.4	1.8	9.3
* 性別 × 雇用形態	■男性 計	275	46.9	48.4	41.5	38.2	39.3	30.2	19.3	17.8	17.8	11.6	2.2	12.0
	正規の社員・職員	190	45.3	47.9	42.6	35.3	36.8	25.8	17.4	17.9	16.3	7.4	1.1	12.1
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	41	58.5	51.2	41.5	41.5	48.8	43.9	26.8	19.5	22.0	29.3	7.3	9.8
	自営業主・家族従業員	25	44.0	52.0	36.0	56.0	32.0	32.0	20.0	8.0	24.0	8.0	4.0	16.0
	無職・家事	19	42.1	42.1	36.8	36.8	52.6	42.1	21.1	26.3	15.8	21.1	0.0	10.5
	■女性 計	272	69.1	60.3	43.8	44.9	41.2	30.5	27.9	27.2	25.4	19.1	1.5	6.6
	正規の社員・職員	156	65.4	62.8	44.2	44.9	39.1	31.4	27.6	25.6	25.6	17.9	1.3	6.4
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	84	72.6	57.1	47.6	46.4	44.0	26.2	29.8	25.0	27.4	19.0	2.4	7.1
	自営業主・家族従業員	8	75.0	50.0	50.0	37.5	50.0	62.5	50.0	37.5	25.0	50.0	0.0	0.0
	無職・家事	24	79.2	58.3	25.0	41.7	41.7	29.2	16.7	41.7	16.7	16.7	0.0	8.3

※なお、「学生 31 人」「その他 3 人」を除いて計算している。

平成28～令和元2年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、上位5項目には大きな変化はなかった。

■平成28年度調査(n=782) ■平成29年度調査(n=710) ■平成30年度調査(n=699) ■令和元年度調査(n=637) ■令和2年度調査(今回調査)(n=581)



n=	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	自分に子育てができるか	お金を自由に使えるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	ファッションや食べ物などの好みが制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない	
令和2年度調査(今回調査)	581	58.2	53.9	42.7	41.7	40.8	31.2	24.3	22.4	21.3	15.3	1.7	9.1
令和元年度調査	637	55.6	52.7	41.6	43.2	41.1	31.6	25.9	21.7	20.6	17.0	1.7	10.7
平成30年度調査	699	58.8	53.8	40.1	40.3	42.9	31.6	28.6	22.7	19.6	16.5	2.7	8.7
平成29年度調査	710	59.6	54.4	39.7	38.6	41.7	26.6	27.5	21.1	19.9	15.2	1.8	10.7
平成28年度調査	782	-	57.5	44.8	-	42.7	19.6	21.9	19.4	20.3	14.6	1.8	12.1

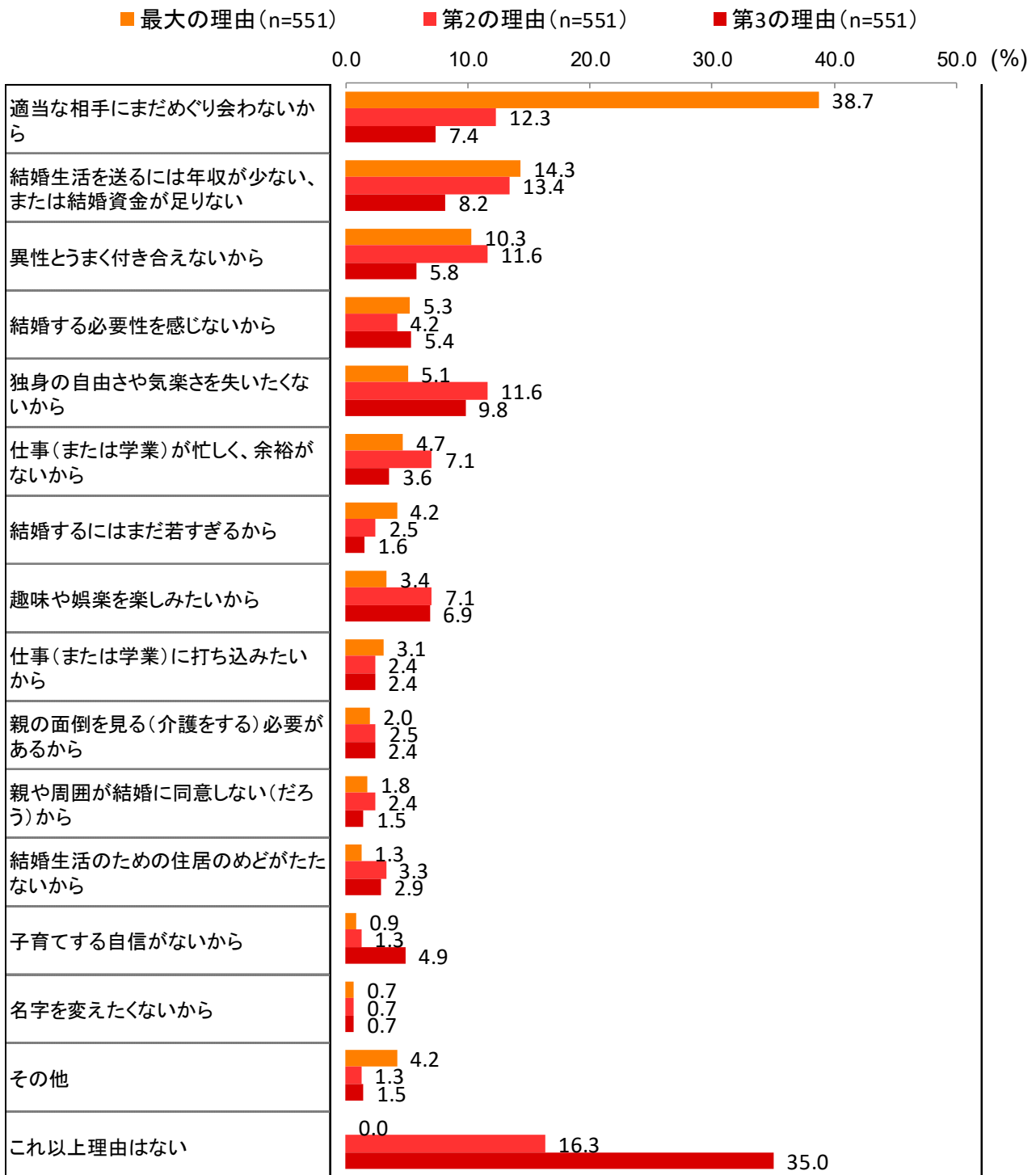
※グラフは今回調査の順でソート

問7 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ)

【回答者：結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）、結婚意向がない者】

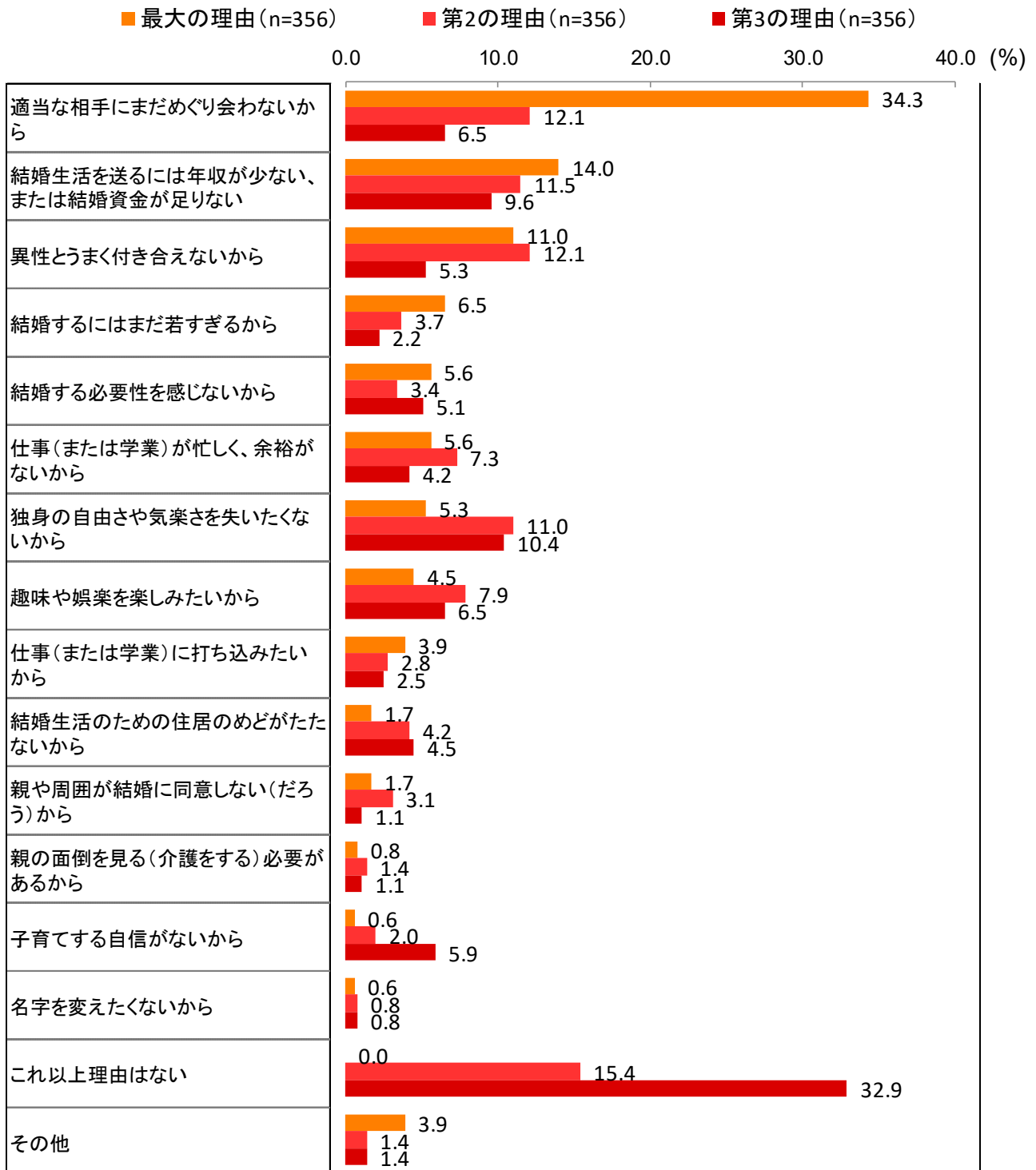
現在独身でいる最大の理由を結婚意向がある者についてみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」(38.7%)が最も高く、以下、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」(14.3%)、「異性とうまく付き合えないから」(10.3%)と続く。

<「結婚意向あり」の場合（「結婚予定あり」を除く）>



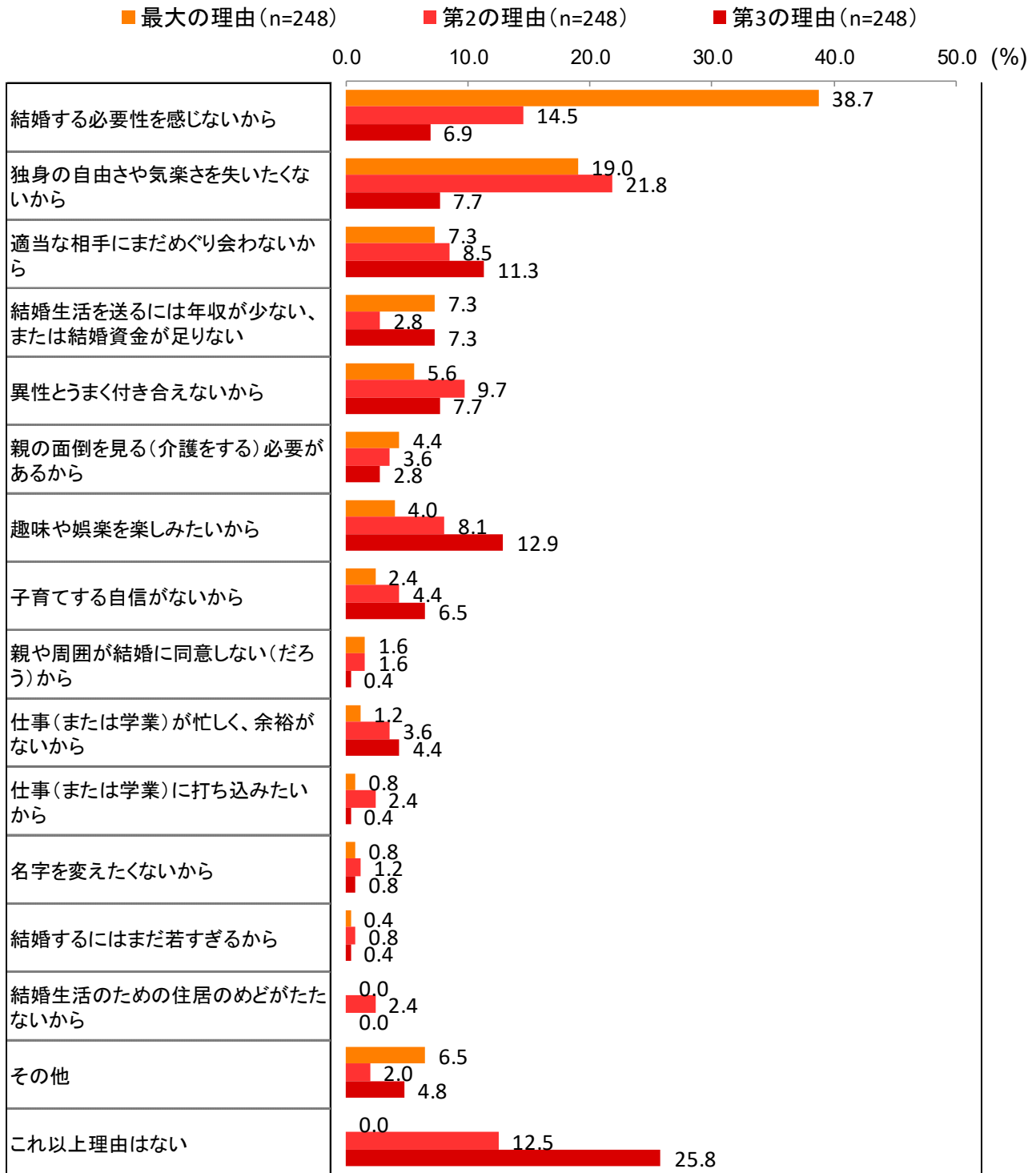
結婚意向がある10代～30代の場合、現在独身でいる最大の理由は「適当な相手にまだめぐり合わないから」が34.3%と最も高く、次いで「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」(14.0%)、「異性とうまく付き合えないから」(11.0%)となっており、全年代と同様の傾向がみられる。

<「結婚意向あり」(「結婚予定あり」を除く)の10代～30代の場合>



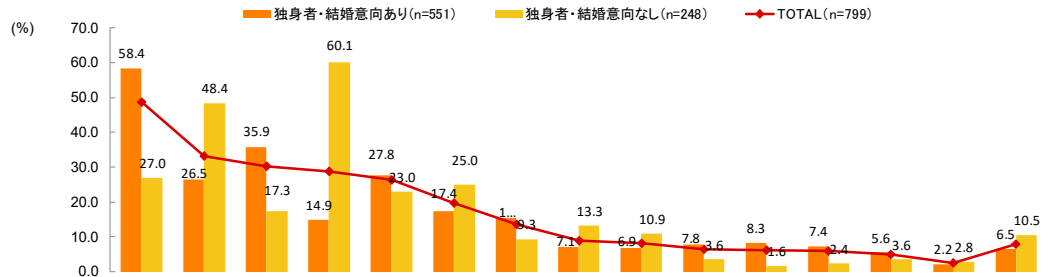
現在独身でいる最大の理由を結婚意向がない者についてみると、「結婚する必要性を感じないから」(38.7%)が最も高く、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(19.0%)と続いており、現在のライフスタイルを維持したい意向がうかがえる。

<「結婚意向なし」の場合>



結婚意向と性・年代別にみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」は「結婚意向あり」の男性40代と女性30・40代でそれぞれ7割前後と高くなっている。「結婚生活を送るには年取が少ない、または結婚資金が足りない」は「結婚意向あり」の男性全年代で高く、それぞれ4割を超えている。「結婚意向あり」の女性10・20代では「仕事（または学業）が忙しく、余裕がないから」が23.5%と高くなっている。

<最大の理由、第2の理由、第3の理由を合算した場合>

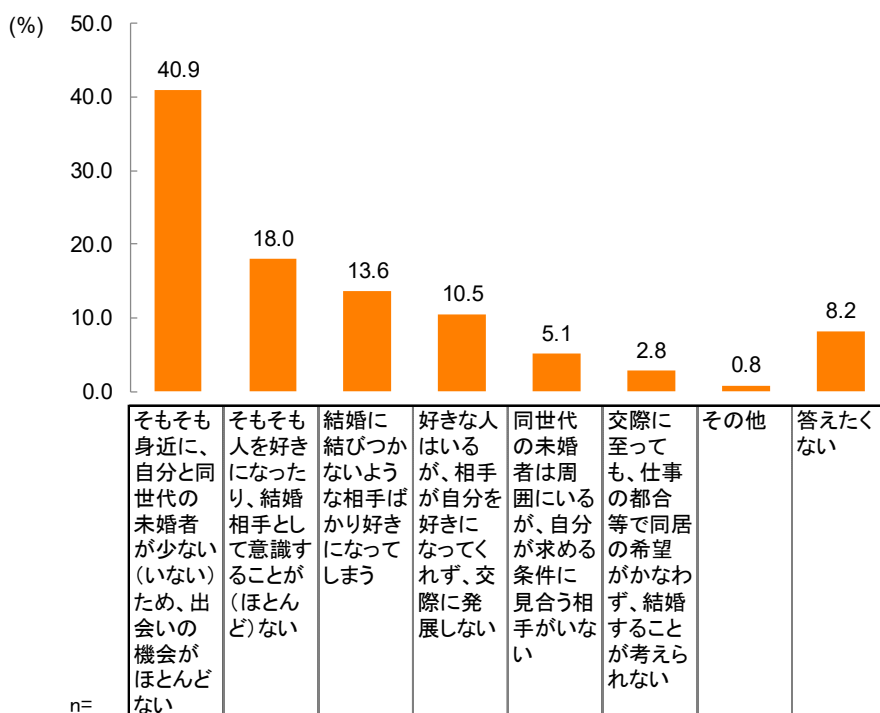


n=		適当な相手にまだめぐり会わないから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	結婚生活を送るには年取が少ない、または結婚資金が足りない	結婚する必要性を感じないから	異性とうまく付き合えないから	趣味や娯楽を楽しみたいから	仕事（または学業）が忙しく、余裕がないから	子育てする自信がないから	親の面倒を見る（介護をする）必要があるから	仕事（または学業）に打ち込みたいから	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚生活のための住居のめどがたないから	親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から	名字を変えたくないから	その他
TOTAL	799	48.7	33.3	30.2	28.9	26.3	19.8	13.5	9.0	8.1	6.5	6.3	5.9	5.0	2.4	7.8
独身者・結婚意向あり	551	58.4	26.5	35.9	14.9	27.8	17.4	15.4	7.1	6.9	7.8	8.3	7.4	5.6	2.2	6.5
■男性 計	279	60.2	26.5	47.3	11.5	32.3	16.5	13.6	7.2	8.2	5.4	5.0	5.7	3.9	0.0	4.7
10・20代	60	45.0	18.3	48.3	8.3	23.3	21.7	16.7	6.7	3.3	8.3	20.0	11.7	6.7	0.0	3.3
30代	93	57.0	36.6	50.5	12.9	37.6	17.2	14.0	8.6	4.3	5.4	2.2	7.5	1.1	0.0	4.3
40代	126	69.8	23.0	44.4	11.9	32.5	13.5	11.9	6.3	13.5	4.0	0.0	1.6	4.8	0.0	5.6
■女性 計	272	56.6	26.5	24.3	18.4	23.2	18.4	17.3	7.0	5.5	10.3	11.8	9.2	7.4	4.4	8.5
10・20代	115	40.0	20.9	27.0	15.7	19.1	21.7	23.5	7.8	0.0	18.3	26.1	13.9	10.4	2.6	8.7
30代	88	70.5	29.5	20.5	17.0	34.1	14.8	12.5	10.2	6.8	2.3	0.0	8.0	4.5	5.7	6.8
40代	69	66.7	31.9	24.6	24.6	15.9	17.4	13.0	1.4	13.0	7.2	2.9	2.9	5.8	5.8	10.1
独身者・結婚意向なし	248	27.0	48.4	17.3	60.1	23.0	25.0	9.3	13.3	10.9	3.6	1.6	2.4	3.6	2.8	10.5
■男性 計	122	20.5	45.1	28.7	53.3	27.0	31.1	9.8	13.1	7.4	3.3	2.5	4.1	2.5	0.8	7.4
10・20代	17	11.8	47.1	23.5	41.2	52.9	35.3	11.8	5.9	11.8	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0	11.8
30代	34	17.6	32.4	38.2	47.1	26.5	29.4	5.9	20.6	11.8	0.0	2.9	11.8	5.9	2.9	5.9
40代	71	23.9	50.7	25.4	59.2	21.1	31.0	11.3	11.3	4.2	4.2	0.0	1.4	0.0	0.0	7.0
■女性 計	126	33.3	51.6	6.3	66.7	19.0	19.0	8.7	13.5	14.3	4.0	0.8	0.8	4.8	4.8	13.5
10・20代	22	40.9	50.0	9.1	59.1	22.7	22.7	4.5	22.7	4.5	9.1	4.5	0.0	4.5	4.5	4.5
30代	32	18.8	53.1	9.4	71.9	21.9	21.9	9.4	15.6	12.5	3.1	0.0	0.0	6.3	6.3	15.6
40代	72	37.5	51.4	4.2	66.7	16.7	16.7	9.7	9.7	18.1	2.8	0.0	1.4	4.2	4.2	15.3

問8 「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)
 【回答者：問7で「適当な相手にまだめぐり会わないから」と回答した者】

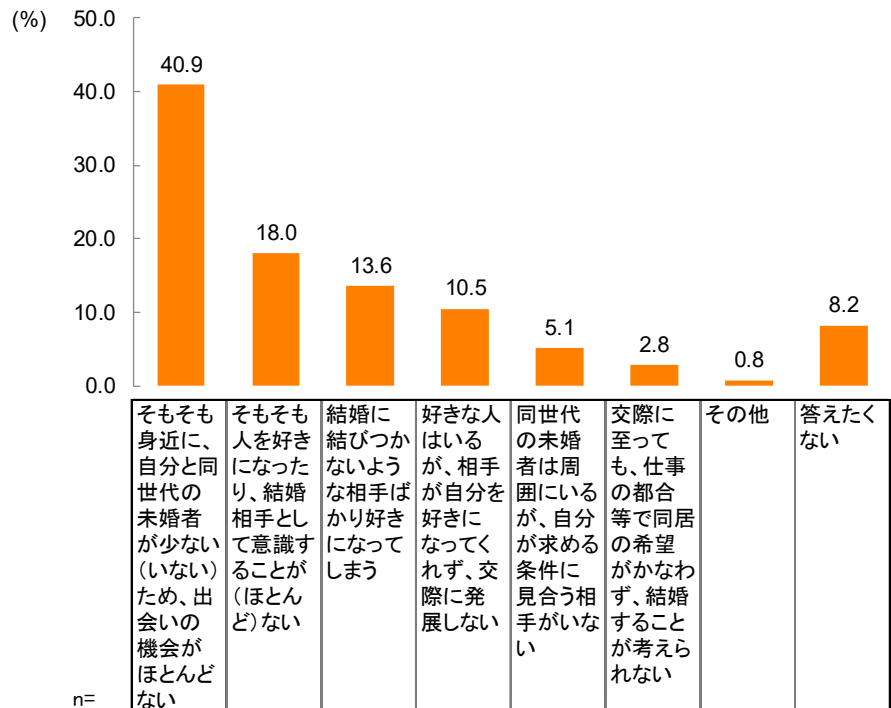
現在独身でいる理由として「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な理由については、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が40.9%と最も高い。

性・年代別にみると、男性40代では「結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう」が20.0%、女性10・20代では「交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない」が9.1%と高くなっている。また、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」は男女ともに30代がほかの年代に比べてやや高い。



		n=	40.9	18.0	13.6	10.5	5.1	2.8	0.8	8.2
	TOTAL	389	40.9	18.0	13.6	10.5	5.1	2.8	0.8	8.2
*性別×年代	■男性 計	193	45.6	14.5	13.5	13.0	4.1	1.0	0.0	8.3
	10・20代	29	41.4	17.2	3.4	13.8	10.3	3.4	0.0	10.3
	30代	59	49.2	16.9	6.8	11.9	5.1	0.0	0.0	10.2
	40代	105	44.8	12.4	20.0	13.3	1.9	1.0	0.0	6.7
	■女性 計	196	36.2	21.4	13.8	8.2	6.1	4.6	1.5	8.2
	10・20代	55	30.9	20.0	14.5	9.1	9.1	9.1	0.0	7.3
	30代	68	44.1	23.5	13.2	7.4	4.4	1.5	0.0	5.9
	40代	73	32.9	20.5	13.7	8.2	5.5	4.1	4.1	11.0

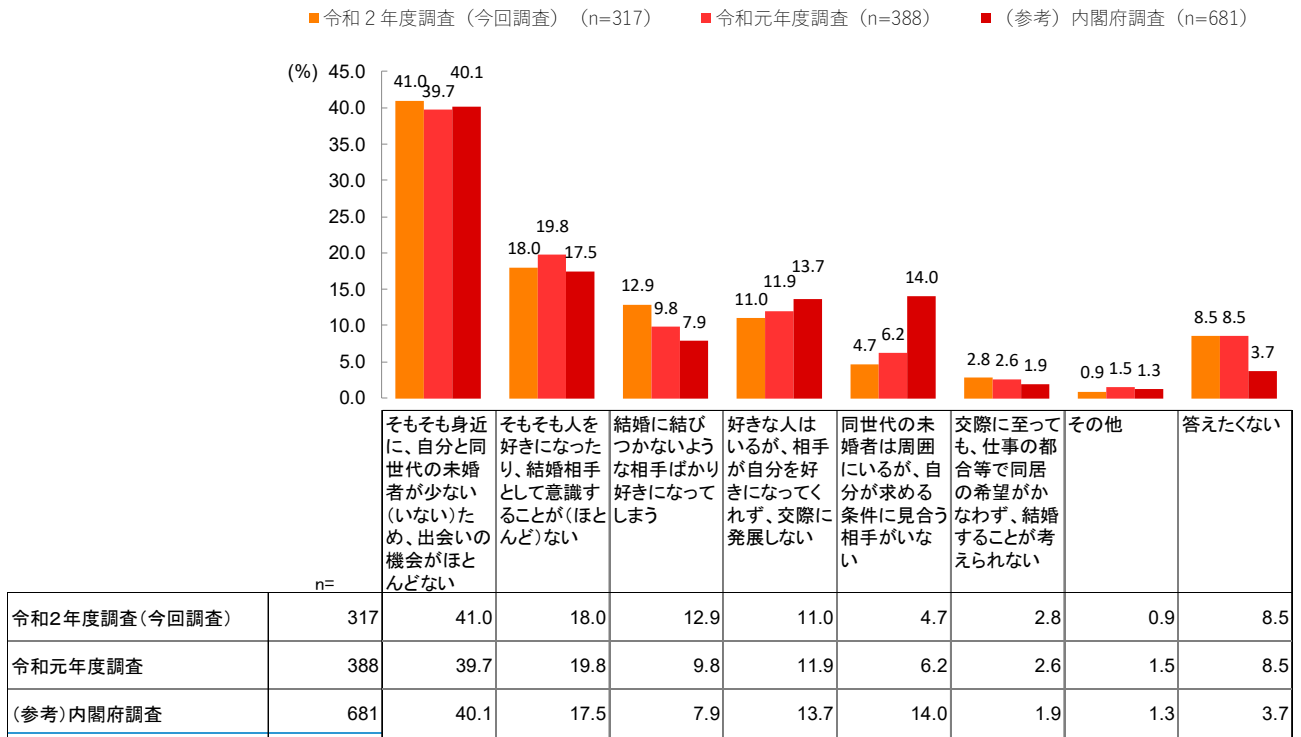
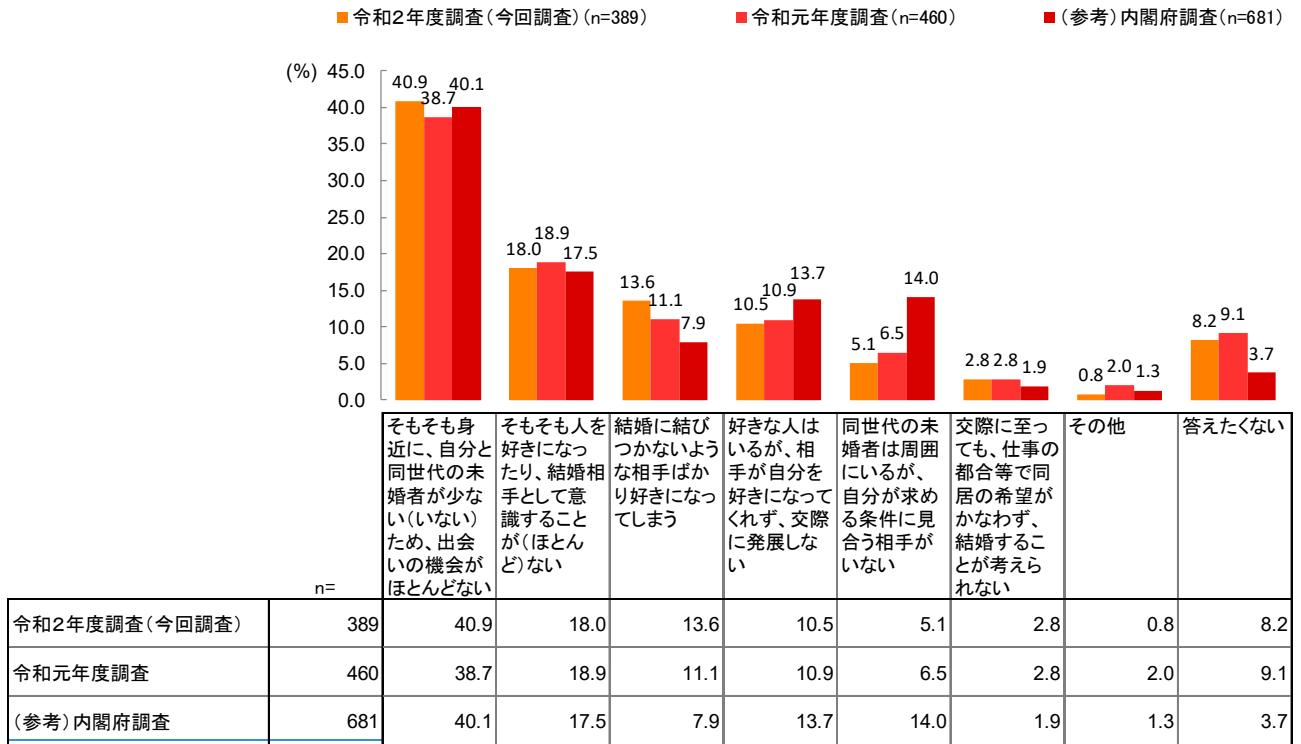
性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい」または「2・3年以内に結婚したい」と回答した男性では、他の性・結婚意向と比べ、「好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない」が21.1%と高い。また、「結婚するつもりはない」と回答した者では、男女ともに「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」(男性:40.0%、女性:42.9%)の割合が高くなっている。

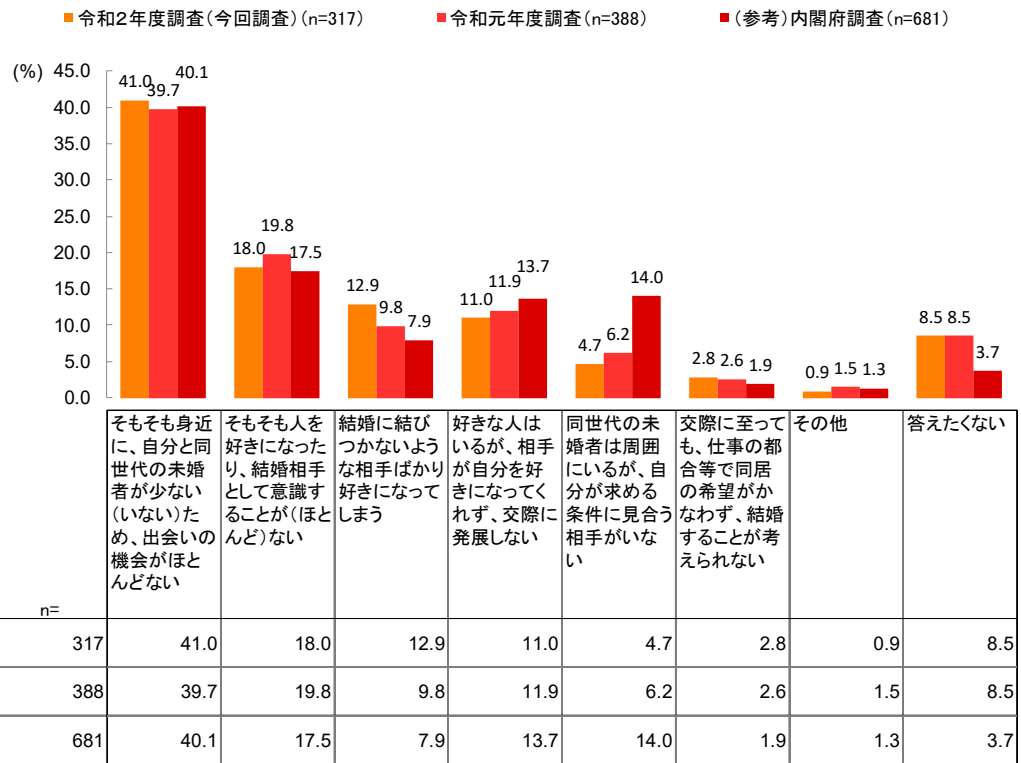


		n=	40.9	18.0	13.6	10.5	5.1	2.8	0.8	8.2
TOTAL		389	40.9	18.0	13.6	10.5	5.1	2.8	0.8	8.2
* 性別×結婚意向	■男性 計	193	45.6	14.5	13.5	13.0	4.1	1.0	0.0	8.3
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	57	49.1	5.3	15.8	21.1	3.5	0.0	0.0	5.3
	いずれは結婚したい	111	47.7	13.5	12.6	11.7	3.6	1.8	0.0	9.0
	結婚するつもりはない	25	28.0	40.0	12.0	0.0	8.0	0.0	0.0	12.0
	■女性 計	196	36.2	21.4	13.8	8.2	6.1	4.6	1.5	8.2
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	59	45.8	10.2	16.9	11.9	6.8	3.4	0.0	5.1
	いずれは結婚したい	95	35.8	18.9	15.8	7.4	5.3	4.2	3.2	9.5
	結婚するつもりはない	42	23.8	42.9	4.8	4.8	7.1	7.1	0.0	9.5

全国を対象に実施した「平成 30 年度「少子化対策に関する意識調査」(内閣府)と比較した結果は以下のとおりである。

上位 2 項目に大きな違いはみられないが、「結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう」は、内閣府調査が 7.9%に対し、長野県は ~~13.6~~**12.9%**と高くなっている。また、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」は、内閣府調査が 14.0%に対し、長野県は ~~5.1~~**4.7%**と低くなっている。





※ともに 20～49 歳男女の未婚者（結婚したことはない）を対象として比較。

※内閣府調査と長野県調査の選択肢相違箇所

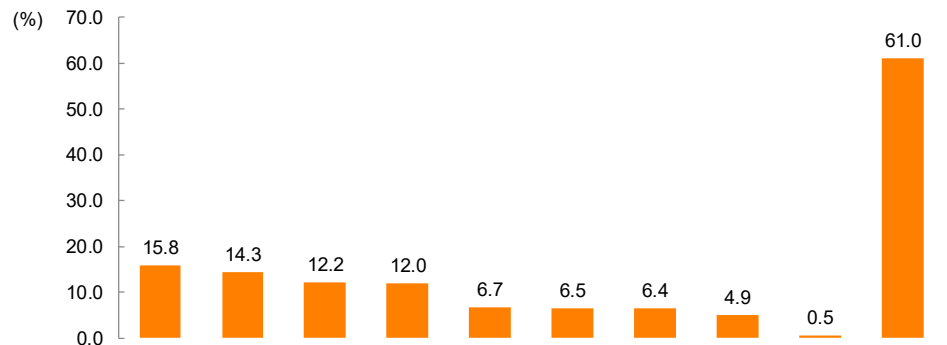
平成 30 年度「少子化対策に関する意識調査」(内閣府)	令和元年度、2 年度調査 (長野県)
結婚に結びつかないような相手(例：結婚願望のない未婚者や既婚者)ばかり好きになってしまう	結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう

問9 あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。
 (回答はいくつでも) 【回答者：結婚意向がある者(結婚予定がある者を除く)】

「婚活」として行っていること(今後行いたいこと)としては、「インターネットサイト・SNSを活用する」(15.8%)の割合が最も高く、次いで「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(14.3%)となっている。一方、「婚活」は「特に行っていない・行う予定はない」は6割(61.0%)を占める。

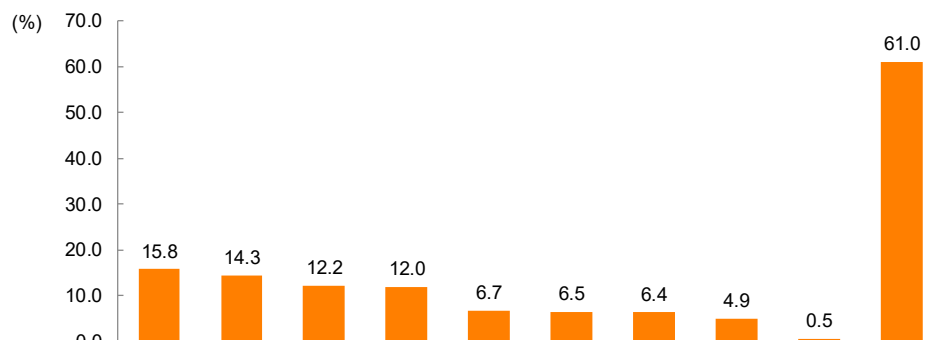
性・年代別にみると、男性40代では「民間の結婚相談所に登録する」(13.5%)、「市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する」(11.1%)が高くなっている。また、女性30代では「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(28.4%)、「婚活パーティーに参加する」(22.7%)が高い。

男性は結婚相談所等のサービスを選ぶ傾向が、女性は近い人からの紹介等を選ぶ傾向がみられる。



		n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	合コンに参加する	婚活パーティーに参加する	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	お見合いをする	趣味のサークルに入る	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		551	15.8	14.3	12.2	12.0	6.7	6.5	6.4	4.9	0.5	61.0
* 性別×年代	■男性 計	279	15.4	10.4	10.4	11.5	9.0	8.6	6.5	4.3	0.7	63.1
	10・20代	60	15.0	15.0	11.7	10.0	6.7	6.7	5.0	8.3	0.0	66.7
	30代	93	17.2	12.9	11.8	11.8	4.3	6.5	6.5	5.4	1.1	60.2
	40代	126	14.3	6.3	8.7	11.9	13.5	11.1	7.1	1.6	0.8	63.5
	■女性 計	272	16.2	18.4	14.0	12.5	4.4	4.4	6.3	5.5	0.4	58.8
	10・20代	115	14.8	11.3	13.0	6.1	0.9	0.9	2.6	4.3	0.0	68.7
	30代	88	21.6	28.4	18.2	22.7	9.1	8.0	9.1	9.1	0.0	43.2
	40代	69	11.6	17.4	10.1	10.1	4.3	5.8	8.7	2.9	1.4	62.3

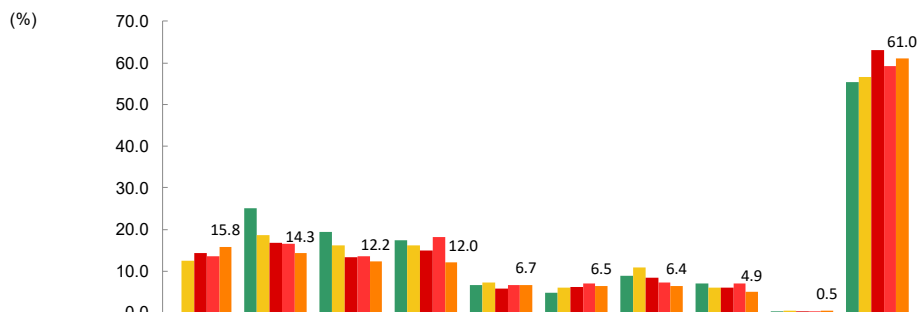
性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい」または「2・3年以内に結婚したい」と回答した者では、男性は「インターネットサイト・SNS を活用する」(24.4%)、「民間の結婚相談所に登録する」(15.6%)、「お見合いをする」(12.2%)が高く、女性は「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(27.8%)が高くなっている。



		n=	インターネットサイト・SNS を活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	合コンに参加する	婚活パーティーに参加する	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	お見合いをする	趣味のサークルに入る	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		551	15.8	14.3	12.2	12.0	6.7	6.5	6.4	4.9	0.5	61.0
* 性別×結婚意向	■男性 計	279	15.4	10.4	10.4	11.5	9.0	8.6	6.5	4.3	0.7	63.1
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	90	24.4	12.2	10.0	15.6	15.6	11.1	12.2	6.7	0.0	46.7
	いずれは結婚したい	189	11.1	9.5	10.6	9.5	5.8	7.4	3.7	3.2	1.1	70.9
	■女性 計	272	16.2	18.4	14.0	12.5	4.4	4.4	6.3	5.5	0.4	58.8
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	108	18.5	27.8	17.6	16.7	8.3	8.3	8.3	4.6	0.9	50.9
	いずれは結婚したい	164	14.6	12.2	11.6	9.8	1.8	1.8	4.9	6.1	0.0	64.0

平成 27～令和 2 年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」、「合コンに参加する」、「婚活パーティーに参加する」は低下傾向にある一方で、「インターネット・SNS を活用する」はやや増加傾向がみられる。

■平成28年度調査(n=747) ■平成29年度調査(n=665) ■平成30年度調査(n=652) ■令和元年度調査(n=599) ■令和2年度調査(今回調査)(n=551)



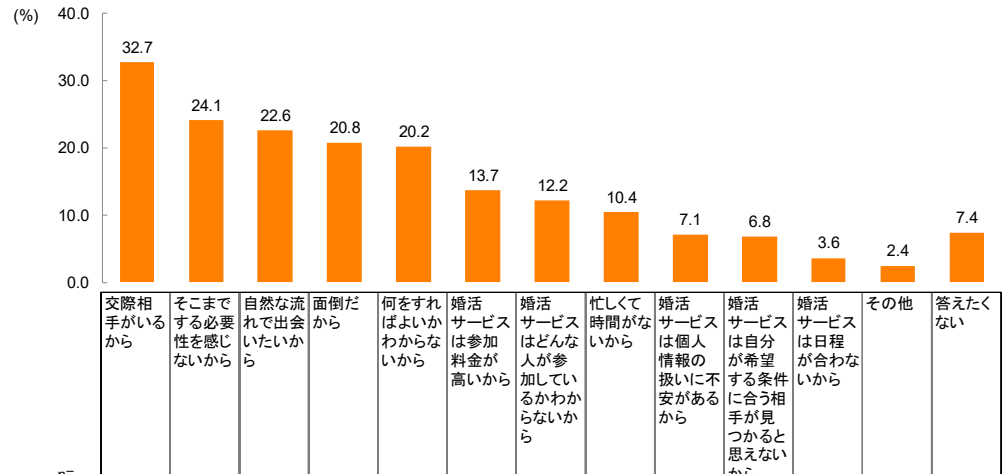
n=	インターネット・SNS を活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	合コンに参加する	婚活パーティーに参加する	民間の結婚相談所に登録する	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	お見合いをする	趣味のサークルに入る	その他	特に行っていない・行う予定はない	
令和2年度調査(今回調査)	551	15.8	14.3	12.2	12.0	6.7	6.5	6.4	4.9	0.5	61.0
令和元年度調査	599	13.5	16.5	13.5	18.2	6.7	7.0	7.3	7.0	0.3	59.3
平成30年度調査	652	14.3	16.7	13.3	15.0	5.7	6.1	8.4	6.0	0.3	63.0
平成29年度調査	665	12.5	18.5	16.1	16.2	7.2	5.9	10.8	5.9	0.5	56.5
平成28年度調査	747	-	25.0	19.5	17.3	6.7	4.7	8.8	7.1	0.4	55.3

問10 婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも)

【回答者：問9で婚活は特に行っていないと回答した者】

婚活を特に行っていない・行う予定はない理由としては、「交際相手がいるから」が32.7%、「そこまでする必要性を感じないから」が24.1%、「自然な流れで出会いたいから」が22.6%と高い。

性・年代別にみると、男性は「面倒だから」が25.6%、女性は「交際相手がいるから」が46.9%と高い。また、男性30代は「何をすればよいかわからないから」が32.1%、男性40代は「忙しくて時間がないから」が20.0%と高くなっている。



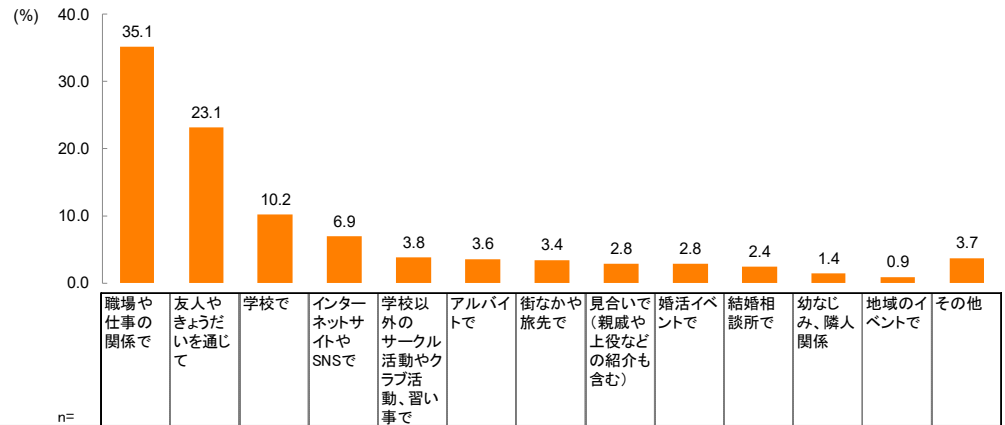
		n=	交際相手がいるから	そこまでする必要性を感じないから	自然な流れで出会いたいから	面倒だから	何をすればよいかわからないから	婚活サービスは参加料が高いから	婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから	忙しくて時間がないから	婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから	婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから	婚活サービスは日程が合わないから	その他	答えたくない
TOTAL		336	32.7	24.1	22.6	20.8	20.2	13.7	12.2	10.4	7.1	6.8	3.6	2.4	7.4
*性別×年代	■男性 計	176	19.9	22.2	25.0	25.6	24.4	17.6	13.1	15.3	6.8	9.1	5.7	1.7	8.5
	10・20代	40	32.5	22.5	17.5	22.5	15.0	10.0	10.0	10.0	5.0	7.5	2.5	5.0	7.5
	30代	56	17.9	26.8	30.4	28.6	32.1	21.4	16.1	12.5	5.4	7.1	3.6	0.0	8.9
	40代	80	15.0	18.8	25.0	25.0	23.8	18.8	12.5	20.0	8.8	11.3	8.8	1.3	8.8
	■女性 計	160	46.9	26.3	20.0	15.6	15.6	9.4	11.3	5.0	7.5	4.4	1.3	3.1	6.3
	10・20代	79	54.4	25.3	22.8	12.7	11.4	5.1	12.7	5.1	7.6	6.3	1.3	3.8	6.3
	30代	38	36.8	28.9	13.2	10.5	26.3	7.9	5.3	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	5.3
	40代	43	41.9	25.6	20.9	25.6	14.0	18.6	14.0	7.0	11.6	4.7	2.3	2.3	7.0

(3) 既婚者の結婚生活の状況

問11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)【回答者：既婚者】

夫婦が知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」(35.1%)が最も高く、以下、「友人やきょうだいを通じて」(23.1%)、「学校で」(10.2%)と続く。

性・年代別にみると、男性30代では「学校で」(14.0%)がきっかけである割合が高い。



		n=	職場や仕事の関係で	友人やきょうだいを通じて	学校で	インターネットサイトやSNSで	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	アルバイトで	街なかや旅先で	見合いで(親戚や上役などの紹介も含む)	婚活イベントで	結婚相談所で	幼なじみ、隣人関係	地域のイベントで	その他
TOTAL		1860	35.1	23.1	10.2	6.9	3.8	3.6	3.4	2.8	2.8	2.4	1.4	0.9	3.7
*性別×年代	■男性計	920	35.5	21.6	9.9	6.1	4.3	3.3	4.5	3.0	3.2	2.1	2.1	1.0	3.5
	10・20代	36	33.3	13.9	19.4	8.3	8.3	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	8.3
	30代	292	33.6	22.6	14.0	6.8	2.1	3.4	4.8	1.7	4.8	0.7	1.4	1.0	3.1
	40代	592	36.7	21.6	7.3	5.6	5.2	3.2	4.6	3.9	2.4	2.9	2.4	1.0	3.4
	■女性計	940	34.7	24.5	10.4	7.7	3.2	3.9	2.4	2.6	2.6	2.7	0.7	0.9	3.8
	10・20代	127	33.1	29.1	14.2	9.4	0.0	3.9	1.6	0.8	0.8	0.8	1.6	2.4	2.4
	30代	405	31.1	26.4	11.4	9.4	4.0	3.7	2.2	2.0	3.2	1.7	0.7	0.5	3.7
	40代	408	38.7	21.1	8.3	5.4	3.4	4.2	2.9	3.7	2.5	4.2	0.5	0.7	4.4

(4) 働き方に関する現状

問12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答は1つ）

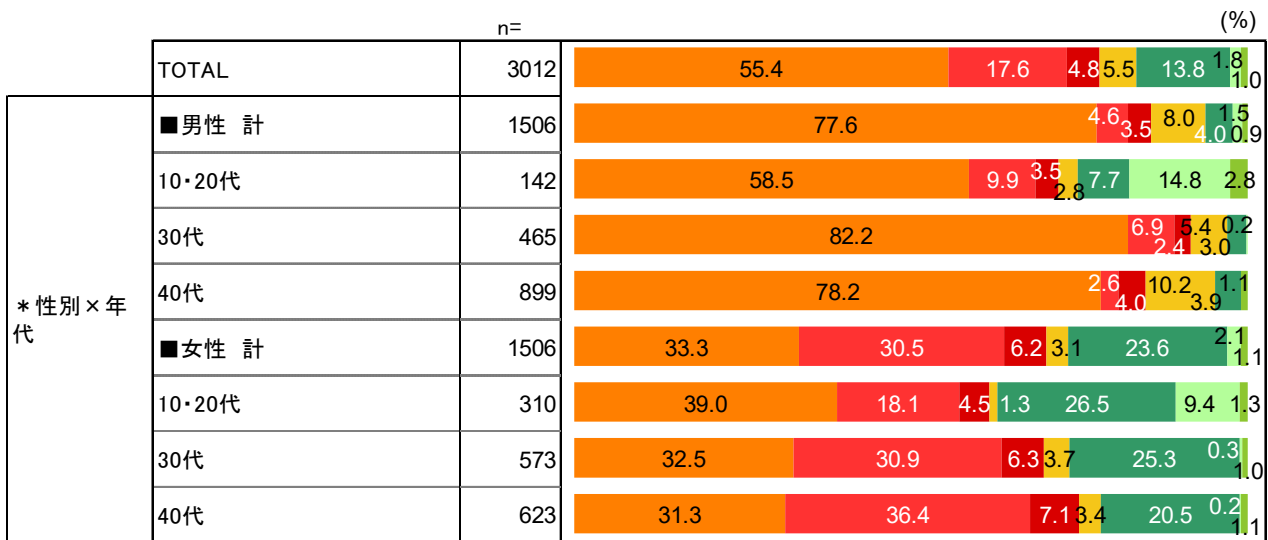
回答者自身の就労状況を性・年代別にみると、男性の場合、30代、40代では「正規の社員・職員」が8割前後（30代：82.2%、40代：78.2%）を占めるが、10・20代では58.5%とやや低い割合である。

一方、女性の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」は3割台（10代：39.0%、30代：32.5%、40代：31.3%）である。

配偶者の就労状況は、男性回答者の配偶者の場合「パート・アルバイト」または「無職・家事」の割合が高く、女性回答者の配偶者の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」が8割以上（10・20代：84.3%、30代：90.1%、40代：82.4%）となっている。

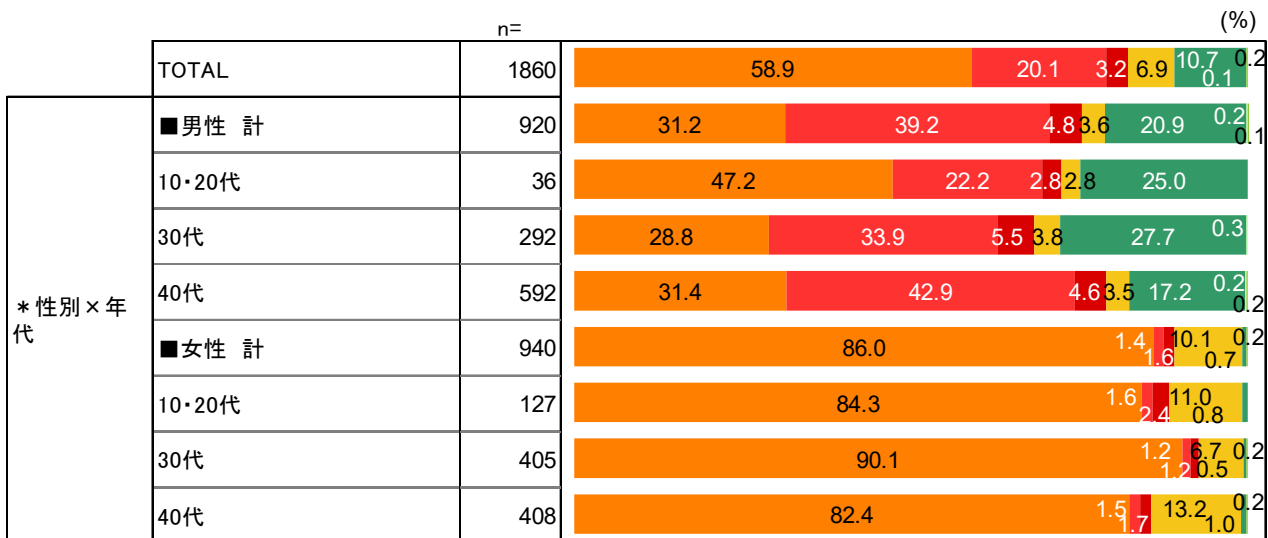
○ あなた自身の状況

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- その他



○ 配偶者の状況（既婚者のみ）

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- その他



性・婚姻状況別にみると、「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した男性は「正規の社員・職員」（89.1％）の割合が高く、「結婚したことはない」と回答した男性は、「パート・アルバイト」（11.2％）、「派遣・嘱託・契約社員」（6.4％）等と、正規の社員・職員以外の割合が高い。

「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した女性は、「パート・アルバイト」（33.1％）や「無職・家事」（31.1％）の割合が高い。「結婚したことはない」と回答した女性は「正規の社員・職員」（47.0％）の割合が高く、「パート・アルバイト」（23.6％）の割合が低い。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- その他

		n=	(%)						
TOTAL		3012	55.4	17.6	4.8	5.5	13.8	1.8	1.0
* 性別 × 婚姻状況	■ 男性 計	1506	77.6		4.6	8.0	1.5		0.9
	現在、結婚(事実婚を含む)している	920	89.1		1.2	6.6		0.3	
	結婚していたが、現在は離・死別した	86	79.1		2.3	10.5		1.2	
	結婚したことはない	500	56.0	11.2	6.4	10.2	9.8	4.4	2.0
	■ 女性 計	1506	33.3	30.5	6.2	3.1	23.6	2.1	1.1
	現在、結婚(事実婚を含む)している	940	26.4	33.1	4.9	3.4	31.1		1.2
	結婚していたが、現在は離・死別した	138	38.4	34.8	13.0	1.4	9.4		2.9
	結婚したことはない	428	47.0	23.6	7.0	2.8	11.7	7.5	0.5

(5) 出産や子育てに関する意識と現状

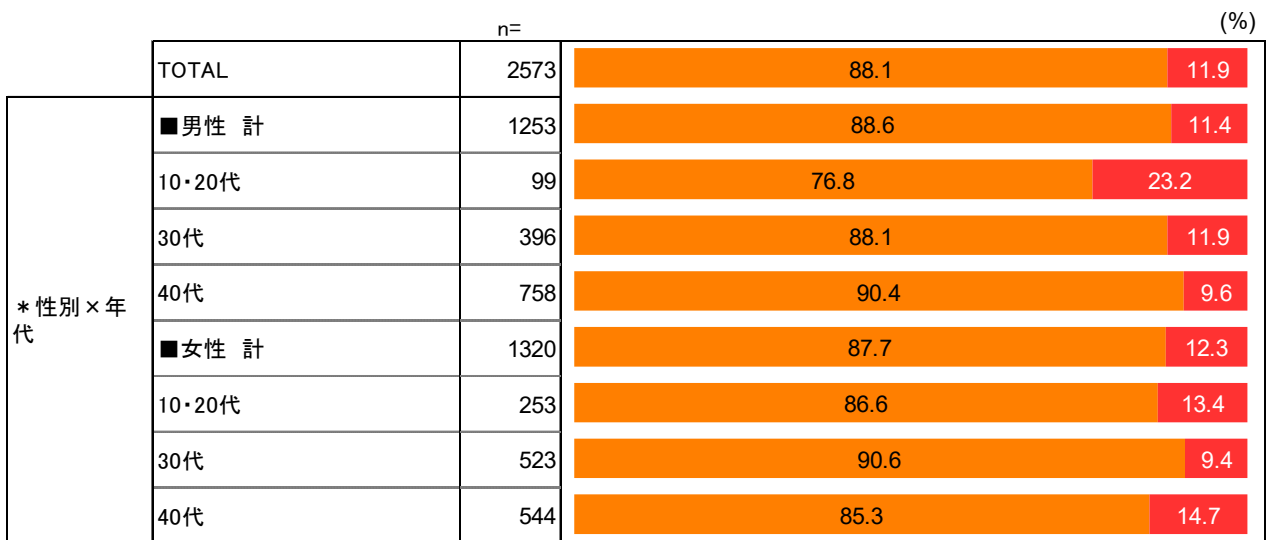
問13 あなたは、結婚や出産（ご自身または配偶者・パートナー）、子育てなどの将来設計について考えたことがありますか。（回答はそれぞれ1つ）
 【回答者：既婚者、離・死別者、結婚意向がある未婚者】

結婚について「考えたことがある」は88.1%となっている。

性・年代別にみると、「考えたことがある」割合は男性の10・20代では7割台（76.8%）と、他の性・年代より低くなっている。

<結婚について>

■ 考えたことがある ■ 考えたことはない

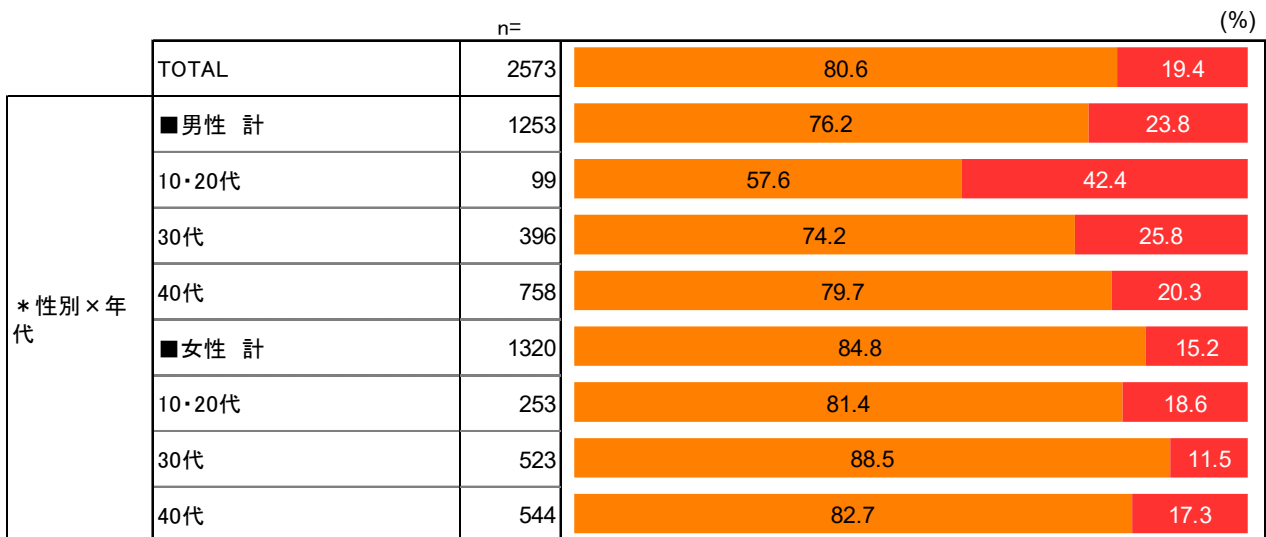


出産について「考えたことがある」は80.6%となっている。

性・年代別にみると、「考えたことがある」割合は男性（76.2%）よりも女性（84.8%）のほうが高い。また、男性の10・20代では、「考えたことがある」割合は5割台（57.6%）と、他の性・年代より低くなっている。

<出産について>

■ 考えたことがある ■ 考えたことはない



子育てについて「考えたことがある」は80.8%となっている。

性・年代別にみると、「考えたことがある」割合は、男女ともに10・20代(男性:61.6%、女性:76.7%)がほかの年代よりも低くなっている。

<子育てについて>

■ 考えたことがある ■ 考えたことはない

		n=	(%)	
	TOTAL	2573	80.8	19.2
* 性別 × 年代	■ 男性 計	1253	80.4	19.6
	10・20代	99	61.6	38.4
	30代	396	78.3	21.7
	40代	758	83.9	16.1
	■ 女性 計	1320	81.1	18.9
	10・20代	253	76.7	23.3
	30代	523	83.6	16.4
	40代	544	80.9	19.1

結婚・出産・子育てについて考えたことがあるかについて、婚姻状況別にみると、「考えたことがある」はいずれも既婚者で高く、特に結婚について「考えたことがある」は9割(91.0%)を超えている。また、未婚・結婚意向ありでは、結婚について「考えたことがある」は8割強(82.8%)と高い一方で、出産や子育てについて「考えたことがある」は6割程度となっている。

■ 考えたことがある ■ 考えたことはない

		n=	(%)	
結婚について	既婚者	1860	91.0	9.0
	結婚経験者(離・死別者)	224	75.4	24.6
	未婚・結婚意向あり	489	82.8	17.2
出産について	既婚者	1860	87.3	12.7
	結婚経験者(離・死別者)	224	68.3	31.7
	未婚・結婚意向あり	489	60.9	39.1
子育てについて	既婚者	1860	86.0	14.0
	結婚経験者(離・死別者)	224	75.9	24.1
	未婚・結婚意向あり	489	63.0	37.0

問14 希望（希望していた）と実際の結婚年齢をお答えください。また、子どもを持ちたい（持ちたかった）年齢と実際に持った年齢をお答えください。

【回答者：既婚者、離・死別者、結婚意向がある未婚者】

希望（希望していた）の結婚年齢は、「25-29歳」が38.6%、「30-34歳」が19.2%となっており、平均は27.1歳である。

性・年代別にみると、「25-29歳」の割合は男性（28.3%）より女性（48.4%）のほうが高く、「30-34歳」の割合は女性（11.1%）より男性（27.7%）のほうが高い。

実際の結婚年齢は、「25-29歳」が39.7%、「30-34歳」が22.4%となっており、平均は28.6歳である。

性・年代別にみると、29歳以下の割合は男性（47.8%）より女性（68.4%）のほうが高い。

①-1 希望（希望していた）結婚年齢

■ 19歳以下 ■ 20-24歳 ■ 25-29歳 ■ 30-34歳 ■ 35-39歳 ■ 40歳以上 ■ 覚えていない・考えたことはない

		n=	(%)							平均値
TOTAL		2267	0.6	12.0	38.6	19.2	3.0	0.7	26.0	27.1
*性別×年代	■男性計	1110	0.3	5.0	28.3	27.7	4.7	1.2	33.0	28.4
	10・20代	76	1.3	9.2	32.9	15.8	1.3		39.5	26.6
	30代	349	4.6		30.9	28.9	3.2	0.9	31.5	28.3
	40代	685	0.3	4.7	26.4	28.3	5.8	1.5	33.0	28.7
	■女性計	1157	1.0	18.7	48.4	11.1	1.4	0.3	19.3	26.1
	10・20代	219	0.9	27.4	49.3	3.2	0.5	18.7	25.1	
	30代	474	1.3	15.8	54.2	12.0	1.3	15.4	26.3	
	40代	464	0.6	17.5	42.0	13.8	2.2	0.4	23.5	26.4

①-2 実際の結婚年齢

■ 19歳以下 ■ 20-24歳 ■ 25-29歳 ■ 30-34歳 ■ 35-39歳 ■ 40歳以上 ■ 覚えていない・考えたことはない

		n=	(%)							平均値
TOTAL		2084	1.0	17.8	39.7	22.4	10.2	2.6	6.3	28.6
*性別×年代	■男性計	1006	0.4	11.0	36.4	24.8	13.0	4.0	10.4	29.8
	10・20代	36	2.8	25.0	58.3				13.9	25.1
	30代	309	0.3	11.0	41.4	34.0	6.5	6.8		28.9
	40代	661	0.3	10.3	32.8	21.8	16.8	6.1	12.0	30.5
	■女性計	1078	1.6	24.0	42.8	20.2	7.6	1.4	2.4	27.6
	10・20代	132	3.0	49.2	44.7	3.0				23.9
	30代	446	1.3	19.7	47.1	25.8	4.5	1.6		27.6
	40代	500	1.4	21.2	38.4	20.6	12.4	3.0	3.0	28.6

実際と希望の結婚年齢差については、「5歳差以上」が21.5%、「実際と希望が同じ」が18.5%となっており、平均は1.9歳である。

性・年代別にみると、「5歳差以上」は男女ともに40代がほかの年代よりも割合が高くなっている（男性：29.5%、女性：27.2%）。

①-3 実際と希望の結婚年齢差



		n=	(%)										平均値	
TOTAL		1397	3.6	4.7	2.2	5.2	7.8	18.5	9.9	12.0	7.9	6.7	21.5	1.9
* 性別×年代	■男性 計	631	4.6	6.3	2.5	6.0	8.2	17.4	8.6	8.9	6.8	5.9	24.7	1.8
	10・20代	21	9.5	4.8	9.5	9.5	4.8	28.6	19.0	4.8	4.8	4.8	-0.6	
	30代	206	4.9	1.5	6.8	8.3	6.8	18.4	9.2	12.6	9.2	4.9	17.5	1.2
	40代	404	4.2	5.9	3.0	4.7	9.2	16.3	7.7	7.2	5.7	6.7	29.5	2.2
	■女性 計	766	2.7	3.3	2.0	4.4	7.4	19.3	11.1	14.5	8.9	7.4	18.9	2.0
	10・20代	102	2.0	6.9	3.9	9.8	18.6	20.6	12.7	11.8	8.8	3.9	1.0	0.0
	30代	340	2.4	3.2	2.6	3.8	5.0	19.4	13.8	15.6	10.0	7.6	16.5	1.7
	40代	324	3.4	2.2	0.6	3.4	6.5	18.8	7.7	14.2	7.7	8.3	27.2	2.8

子どもを持ちたい（持ちたかった）年齢は、「25-29歳」が34.3%、「30-34歳」が25.4%となっており、平均は28.5歳である。

性・年代別にみると、「25-29歳」の割合は男性（22.1%）より女性（44.7%）のほうが高く、「30-34歳」の割合は女性（20.8%）より男性（30.8%）のほうが高い。

実際に子どもを持った年齢は、「25-29歳」が32.9%、「30-34歳」が28.3%となっており、平均は29.7歳である。

性・年代別にみると、29歳以下の割合は男性（34.9%）より女性（57.3%）のほうが高い。

②-1 子どもを持ちたい（持ちたかった）年齢

■ 19歳以下 ■ 20-24歳 ■ 25-29歳 ■ 30-34歳 ■ 35-39歳 ■ 40歳以上 ■ 覚えていない・考えたことはない

		n=	n (%)						平均値
	TOTAL	2074	0.8 6.8	34.3	25.4	5.7	1.1	25.9	28.5
*性別×年代	■男性計	955	0.4 3.7	22.1	30.8	8.9	2.1	32.0	29.8
	10・20代	57	3.5 5.3	29.8	26.3	7.0		28.1	28.4
	30代	294	4.8	21.4	34.7	8.5	0.7	29.9	29.8
	40代	604	0.3 3.0	21.7	29.3	9.3	3.0	33.4	30.0
	■女性計	1119	1.1 9.6	44.7	20.8	2.9 0.2		20.7	27.4
	10・20代	206	2.4	14.6	51.9	11.7		19.4	26.1
	30代	463	1.1 8.6	46.9	22.9	3.2		17.3	27.6
	40代	450	0.4 8.2	39.1	22.9	4.0 0.4		24.9	28.0

②-2 実際に子どもを持った年齢

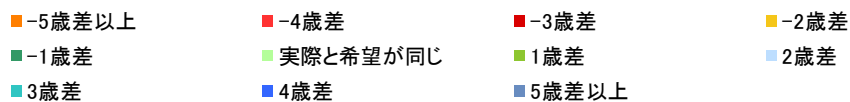
■ 19歳以下 ■ 20-24歳 ■ 25-29歳 ■ 30-34歳 ■ 35-39歳 ■ 40歳以上 ■ 覚えていない・考えたことはない

		n=	n (%)						平均値
	TOTAL	1713	1.1 12.1	32.9	28.3	13.7	3.2 8.8		29.7
*性別×年代	■男性計	858	0.6 6.1	28.2	30.1	16.8	4.8	13.5	31.0
	10・20代	26		15.4	42.3			42.3	25.9
	30代	257	0.8 7.4	30.4	36.2	14.0		11.3	29.9
	40代	575	0.5 5.0	26.6	28.7	18.8	7.1	13.2	31.6
	■女性計	855	1.6	18.2	37.5	26.5	10.5 1.5	4.0	28.6
	10・20代	114	4.4	43.0	39.5			13.2	24.1
	30代	346	1.2	14.2	40.2	33.2	8.1	3.2	28.7
	40代	395	1.3	14.7	34.7	28.4	15.7	3.3 2.0	29.6

実際と希望の子どもを持った年齢差については、「5歳差以上」が23.7%、「実際と希望が同じ」が13.3%となっており、平均は2.1歳である。

性・年代別にみると、「5歳差以上」は男女ともに40代がほかの年代よりも割合が高くなっている（男性：32.4%、女性：29.0%）。女性10・20代は「-1歳差」が14.3%、「-2歳差」が13.0%と、ほかの性・年代よりも割合が高くなっている。

②-2 実際と希望の子どもを持った年齢差



		n=	(%)										平均値
	TOTAL	1057	4.0	3.6	6.1	5.4	13.3	13.0	11.4	9.6	7.8	23.7	2.1
* 性別×年代	■ 男性 計	476	4.8	3.8	6.5	6.3	14.5	11.8	9.9	8.4	5.3	26.7	2.1
	10・20代	12			33.3		8.3	8.3		25.0		16.7	-1.2
	30代	143	4.9	5.6	7.7	7.0	17.5	13.3	9.8	10.5	6.3	15.4	1.2
	40代	321	3.7	3.1	6.2	5.9	13.4	10.6	9.7	7.8	5.0	32.4	2.6
	■ 女性 計	581	3.3	3.4	5.9	4.6	12.4	13.9	12.7	10.7	9.8	21.2	2.1
	10・20代	77	6.5	5.2	7.8	13.0	14.3	11.7	15.6	14.3	6.5	2.6	-0.4
	30代	256	2.7	3.1	4.7	3.5	12.9	13.7	14.1	12.1	11.7	19.1	2.1
	40代	248	2.8	2.4	4.8	2.8	12.1	13.7	10.9	10.5	10.1	29.0	2.9

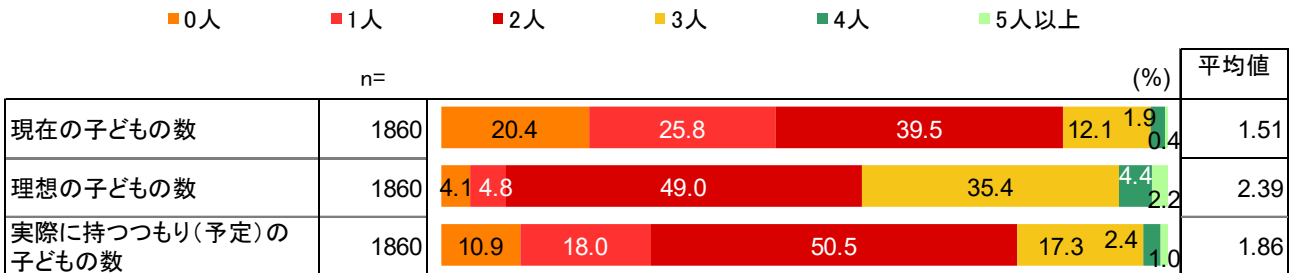
問15 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

＜既婚者の場合＞

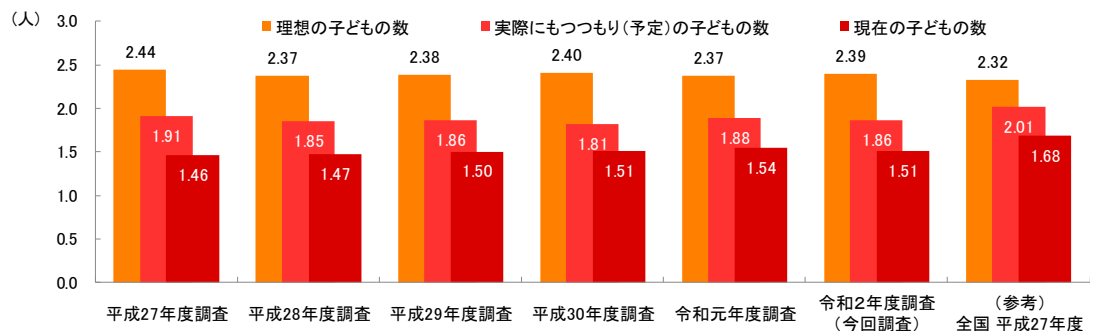
現在の子どもの数は、1人が25.8%、2人が39.5%、3人が12.1%、平均すると1.51人である。0人の割合は2割（20.4%）となっている。

理想の子どもの数は、1人が4.8%、2人が49.0%、3人が35.4%、平均すると2.39人である。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、理想の数より3人の割合が低くなる一方、1人の割合が高く、1人が18.0%、2人が50.5%、3人が17.3%、平均すると1.86人である。



なお、平成27～令和2年度調査（今回調査）までの経年変化は以下のとおりである。平成27年度調査から概ね同程度で推移している。

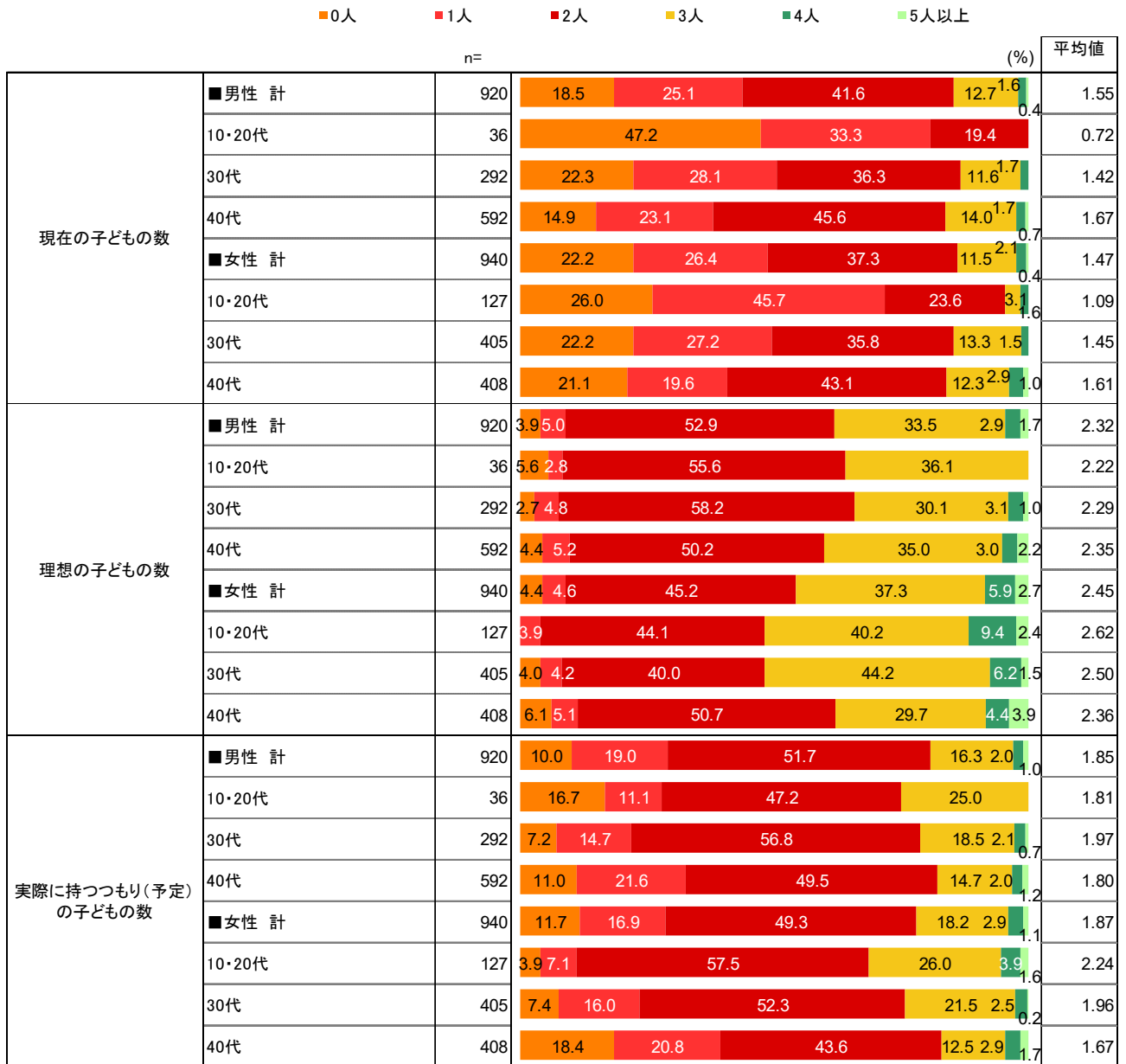


理想の子どもの数	2.44	2.37	2.38	2.40	2.37	2.39	2.32
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	1.91	1.85	1.86	1.81	1.88	1.86	2.01
現在の子どもの数	1.46	1.47	1.50	1.51	1.54	1.51	1.68

※全国値は「第15回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」（国立社会保障・人口問題研究所）より出典

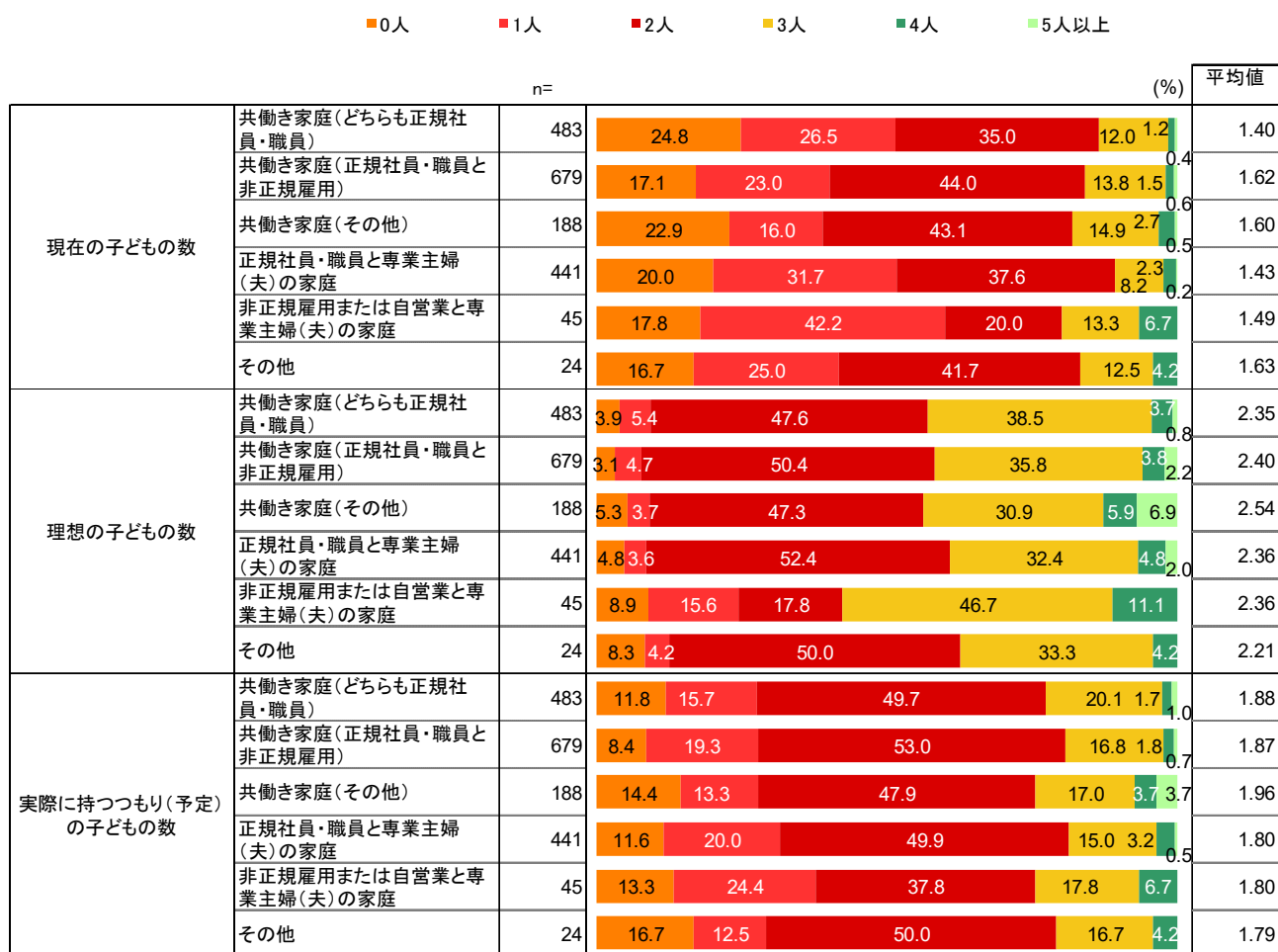
既婚者の性・年代別にみた現在の子ども数、理想の子ども数、実際に持つつもり（予定）の子ども数は、以下のとおりである。

①-1 性・年代別



既婚者の夫婦の働き方別にみると、現在の子ども数は、共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）では平均 1.62 人と多く、共働き家庭（どちらも正社員・職員）では平均 1.40 人と少ない。

①-2 夫婦の働き方別

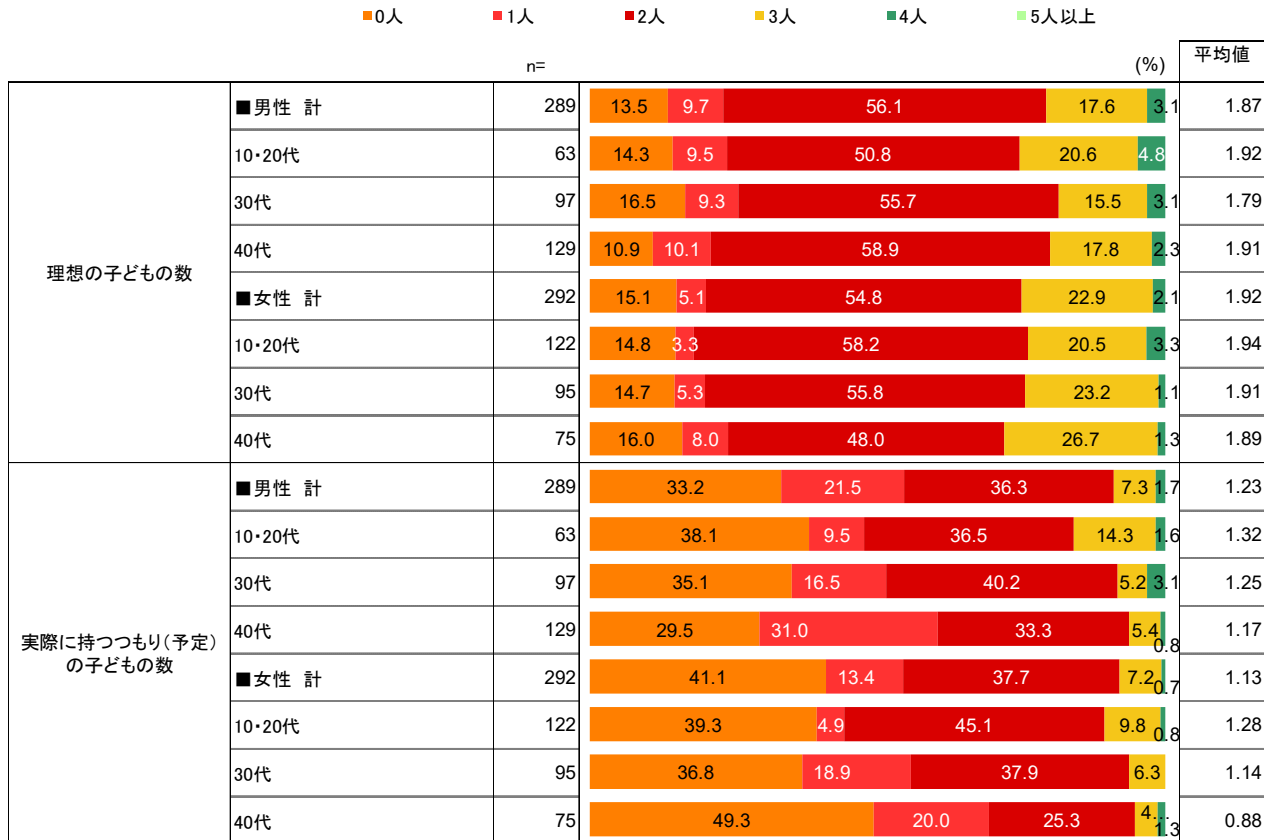


＜独身者のうち結婚予定・意向がある者の場合＞

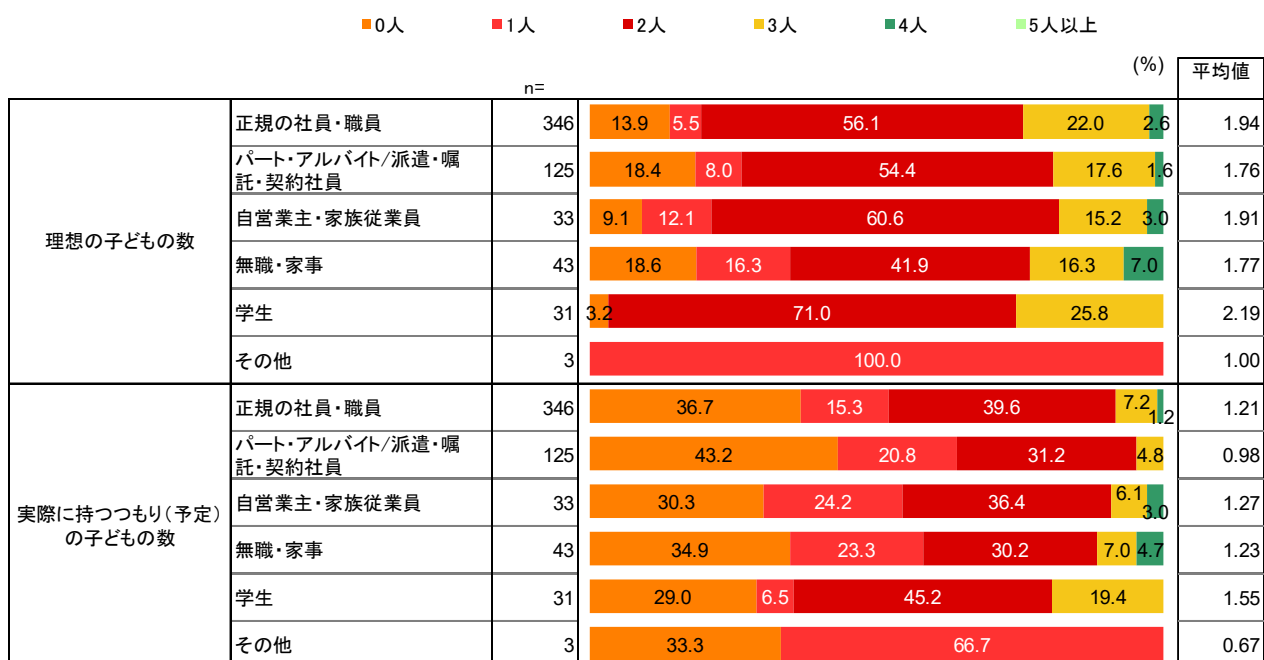
独身者のうち結婚予定・意向がある者を性・年代別にみると、いずれの年代でも理想の子どもの数は2人の割合が高い一方、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は0人の割合が既婚者に比べ高い。

雇用形態別にみると、パート・アルバイト／派遣・嘱託・契約社員では、理想の子どもの数は平均1.76人なのに対し、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は平均0.98人と少なくなっている。

②-1 性・年代別



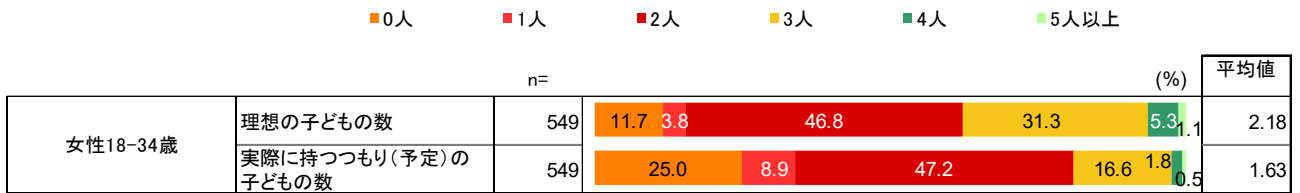
②-2 雇用形態別



<女性 18-34 歳の場合> (希望出生率の算出根拠)

理想の子どもの数は、希望出生率の算出根拠となる「女性 18-34 歳」では、2 人が 46.8%、3 人が 31.3%、平均 2.18 人であった。

実際に持つつもり (予定) の子どもの数は、0 人が 25.0%、1 人が 8.9%、2 人が 47.2%、平均 1.63 人であった。



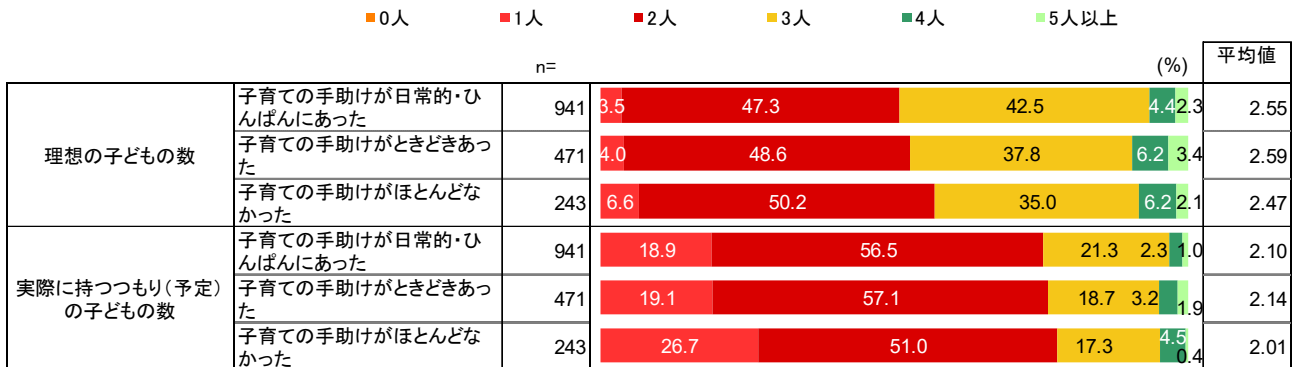
※既婚者、独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く。

<子どもが1人以上いる者の場合>

親からの子育て支援の状況別にみると、いずれかの親から子育ての手助けがあった人は、理想の子どもの数、実際に持つつもり (予定) の子どもの数ともに3人以上の割合がやや高いが、大きな差はみられない。

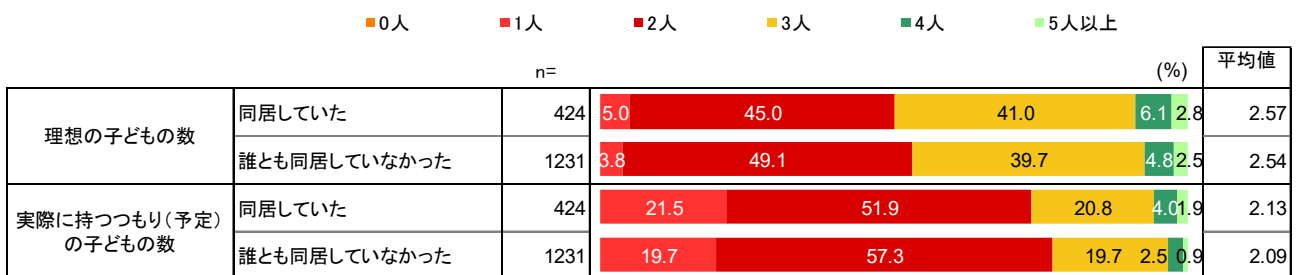
子どもが3歳になるまでの期間における親との同居有無別にみると、理想の子どもの数・実際に持つつもり (予定) の子どもの数ともに同居していた者のほうがやや多いものの、大きな差はみられない。

③-1 親からの子育て支援別



※親からの子育て支援は、問 20 の回答をもとに分類した。いずれかの親から「日常的にあった」または「ひんぱんにあった」場合には「子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった」、いずれかの親から「ときどきあった」場合には「子育ての手助けがときどきあった」、いずれの親からも「ほとんどなかった」、または親がいなかった場合には「子育ての手助けがほとんどなかった」としている。

③-2 親との同居有無別



※親との同居の有無は、問 19 の回答をもとに分類した。いずれかの親と同居していた場合には「同居していた」、いずれの親とも同居していなかった場合には「誰とも同居していなかった」としている。

問16 問15で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方が多いです。

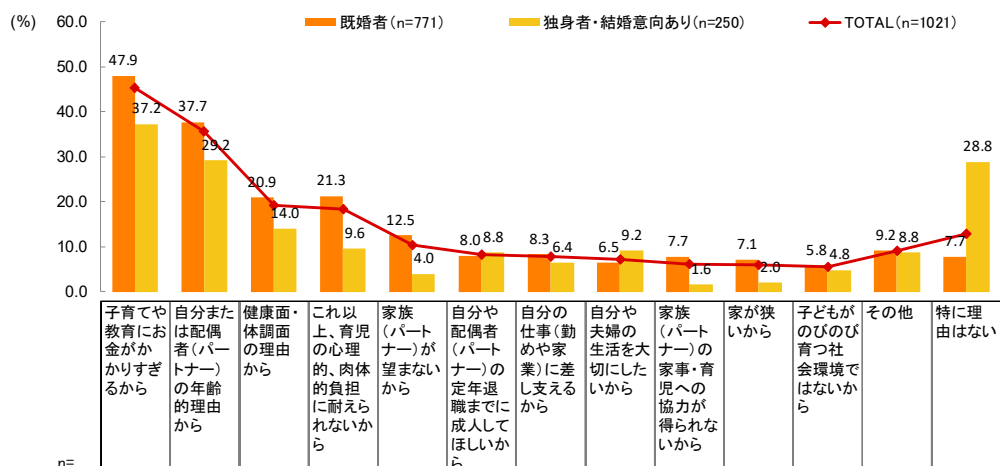
持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。（回答はいくつでも）

実際に持つつもり（予定）の子どもの数が理想の子どもの数よりも少ない理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（45.2%）が最も高い。以下、「自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から」（35.7%）、「健康面・体調面の理由から」（19.2%）と続く。

既婚者の理由をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（47.9%）、「自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から」（37.7%）、「健康面・体調面の理由から」（20.9%）等の上位の理由は、いずれも全体でみた場合よりも高い割合となっている。

独身で結婚意向がある者についてみると、既婚者に比べ経済的・年齢的な理由を挙げる割合は低い。一方、「特に理由はない」（28.8%）は既婚者に比べて高い割合となっている。

<既婚者、独身者のうち結婚予定・意向がある者>



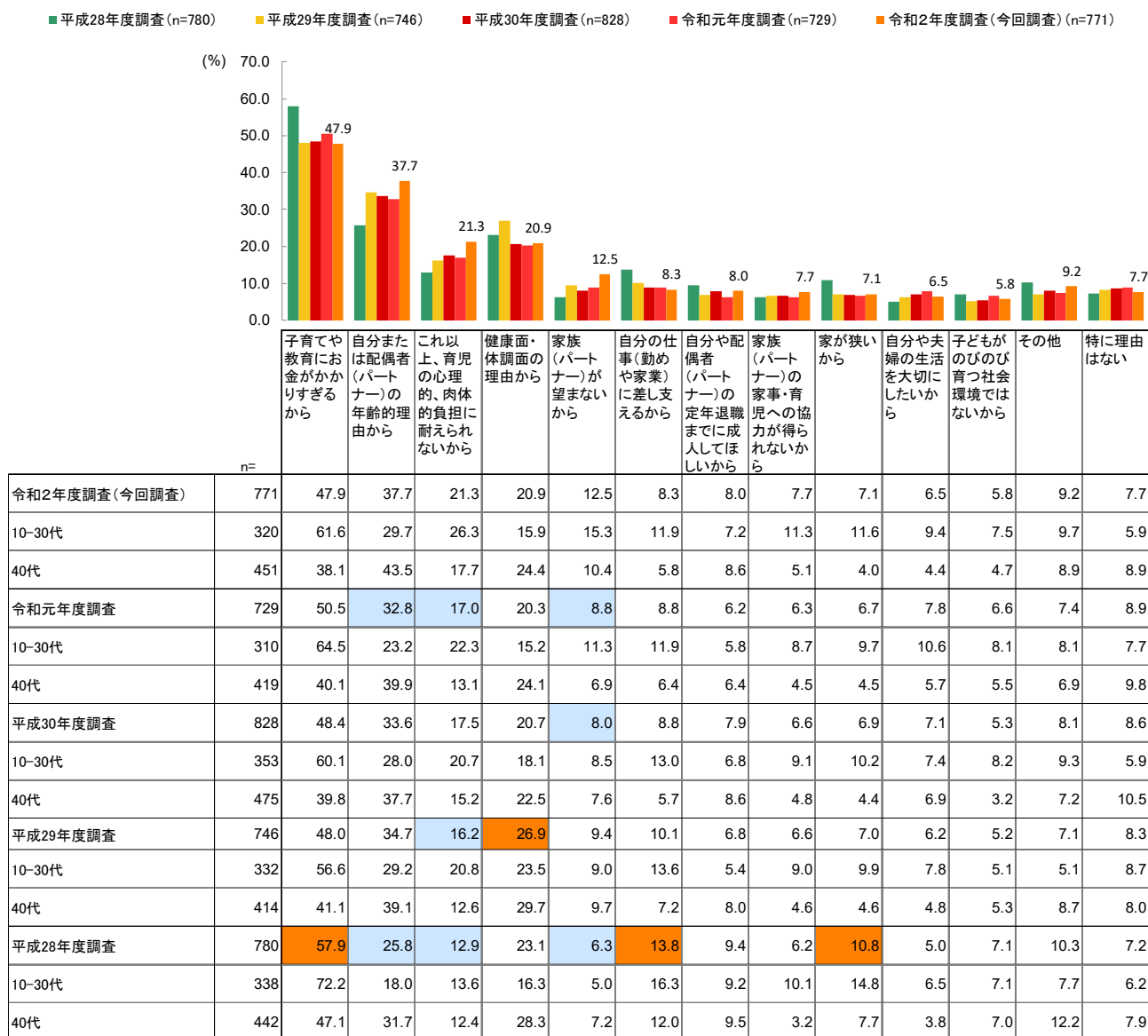
		n=	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	家族(パートナー)が望まないから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	家が狭いから	子どもがのびのびと育つ社会環境ではないから	その他	特に理由はない
TOTAL		1021	45.2	35.7	19.2	18.4	10.4	8.2	7.8	7.1	6.2	5.9	5.6	9.1	12.8
* 婚姻状況	既婚者	771	47.9	37.7	20.9	21.3	12.5	8.0	8.3	6.5	7.7	7.1	5.8	9.2	7.7
	独身者・結婚意向あり	250	37.2	29.2	14.0	9.6	4.0	8.8	6.4	9.2	1.6	2.0	4.8	8.8	28.8

※グラフはTOTALの順でソート

既婚者の回答について5年間の推移を比較すると、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」等は低下している。一方、「自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から」、「これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」という理由は上昇傾向がみられる。

年代別にみると、10-30代では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、40代では「健康面・体調面の理由から」がそれぞれ高い。

<既婚者の場合>



※グラフは今回調査の順にソート

※今回調査と前回調査の選択肢変更箇所

令和2年度調査（今回調査） 令和元年度、平成29、30年度調査	平成28年度調査
自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から	高年齢で出産や子育てをするのはいやだから
家族（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから	家族の家事・育児への協力が得られないから
家族（パートナー）が望まないから	家族が望まないから
自分や配偶者（パートナー）の定年退職までに成人してほしいから	自分や配偶者の定年退職までに成人してほしいから

問17 問15で「実際に持つつもり（予定）の子ども数」が「理想の子ども数」より少ない方がいます。

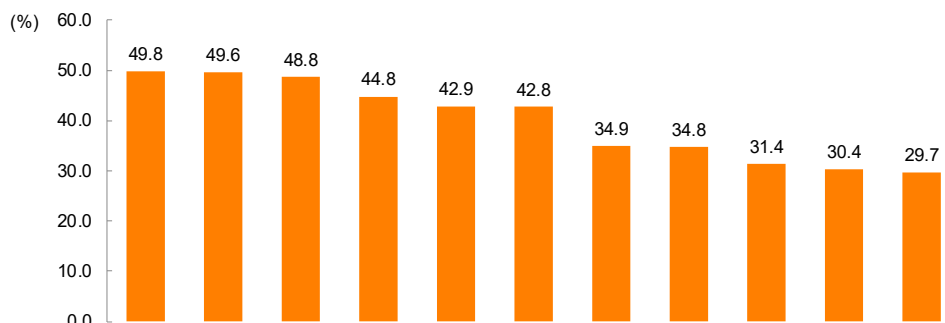
2人、3人と出産し、育てていくためには、どんなことが必要だと思われますか。

(回答はいくつでも)

2人、3人と出産し、育てていくために必要だと思うことは、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」が49.8%と最も高く、以下、「幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化」(49.6%)、「配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力」(48.8%)と続く。

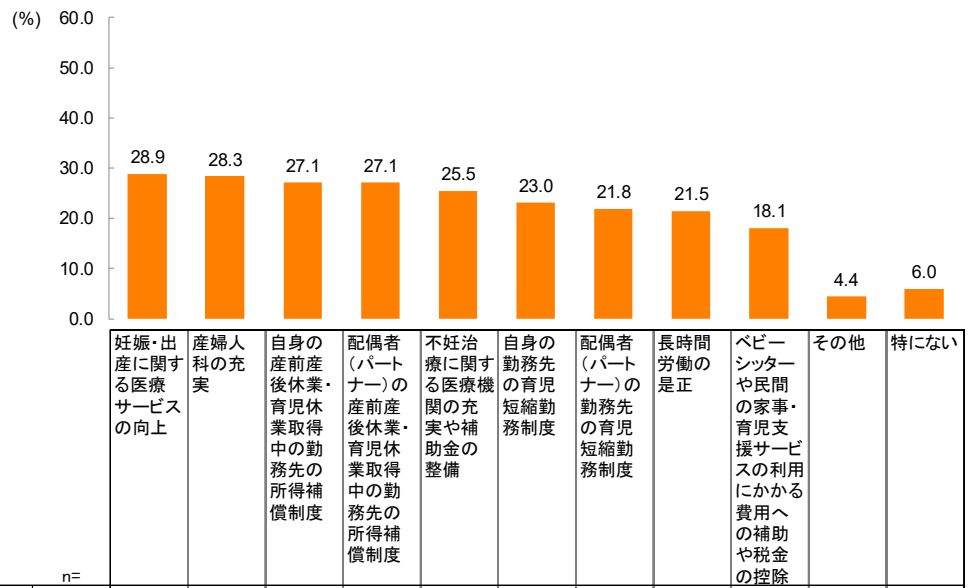
性・年代別にみると、「配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力」は男性が33.0%、女性が62.1%となっており、女性のほうが約30ポイント高い。「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」、「住居費用の補助」は女性の10・20代がほかの性・年代に比べて高くなっている。

<既婚者、独身者のうち結婚予定・意向がある者>



		n=	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化	配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力	幼稚園・保育所などの充実	職場の理解	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減	自分または配偶者（パートナー）の親の家事・子育てへの協力	地域や自治体の育児支援サービスの充実	住居費用の補助	配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度	自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度
TOTAL		1021	49.8	49.6	48.8	44.8	42.9	42.8	34.9	34.8	31.4	30.4	29.7
*性別×年代	■男性 計	469	47.5	48.4	33.0	40.5	33.9	40.3	26.0	33.9	32.6	30.9	24.9
	10・20代	35	37.1	40.0	37.1	42.9	34.3	31.4	20.0	28.6	22.9	34.3	25.7
	30代	122	46.7	51.6	36.1	50.0	37.7	43.4	32.0	38.5	36.9	35.2	27.9
	40代	312	49.0	48.1	31.4	36.5	32.4	40.1	24.4	32.7	32.1	28.8	23.7
	■女性 計	552	51.6	50.5	62.1	48.4	50.5	44.9	42.4	35.5	30.4	29.9	33.7
	10・20代	90	66.7	54.4	63.3	62.2	56.7	46.7	45.6	41.1	48.9	37.8	36.7
	30代	218	55.5	54.6	66.5	52.3	53.2	45.0	48.2	37.2	34.4	34.9	36.2
	40代	244	42.6	45.5	57.8	39.8	45.9	44.3	36.1	32.0	20.1	22.5	30.3

(前表のつづき)

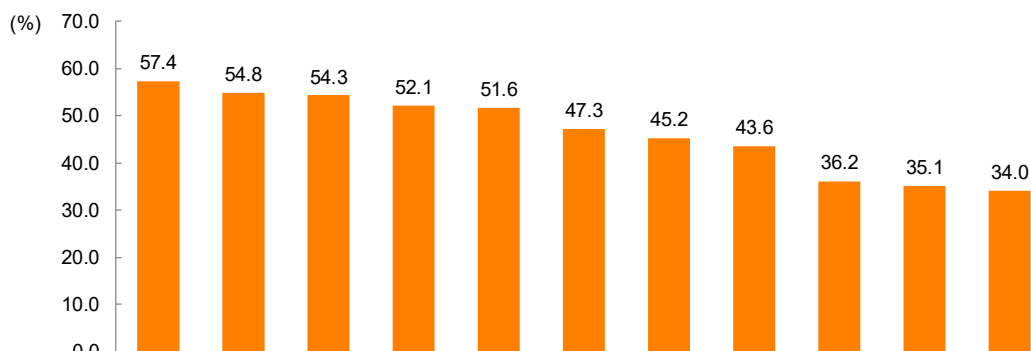


		n=	妊娠・出産に関する医療サービスの向上	産婦人科の充実	自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備	自身の勤務先の育児短縮勤務制度	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度	長時間労働の是正	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金の控除	その他	特になし
TOTAL		1021	28.9	28.3	27.1	27.1	25.5	23.0	21.8	21.5	18.1	4.4	6.0
* 性別×年代	■男性 計	469	25.8	20.0	22.0	28.1	18.6	17.9	21.1	22.0	15.1	3.6	8.3
	10・20代	35	11.4	5.7	22.9	42.9	5.7	20.0	17.1	25.7	5.7	0.0	8.6
	30代	122	27.0	23.0	23.0	29.5	20.5	19.7	27.0	23.0	18.9	4.1	7.4
	40代	312	26.9	20.5	21.5	26.0	19.2	17.0	19.2	21.2	14.7	3.8	8.7
	■女性 計	552	31.5	35.3	31.5	26.3	31.3	27.4	22.5	21.2	20.7	5.1	4.0
	10・20代	90	42.2	25.6	33.3	34.4	17.8	37.8	25.6	23.3	13.3	1.1	4.4
	30代	218	35.3	39.4	34.4	31.2	33.9	30.7	27.5	25.7	23.4	4.6	1.4
	40代	244	24.2	35.2	28.3	18.9	34.0	20.5	16.8	16.4	20.9	7.0	6.1

問 16 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合、「配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力」が 57.4%と最も高く、以下、「幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化」（54.8%）、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」（54.3%）と続く。

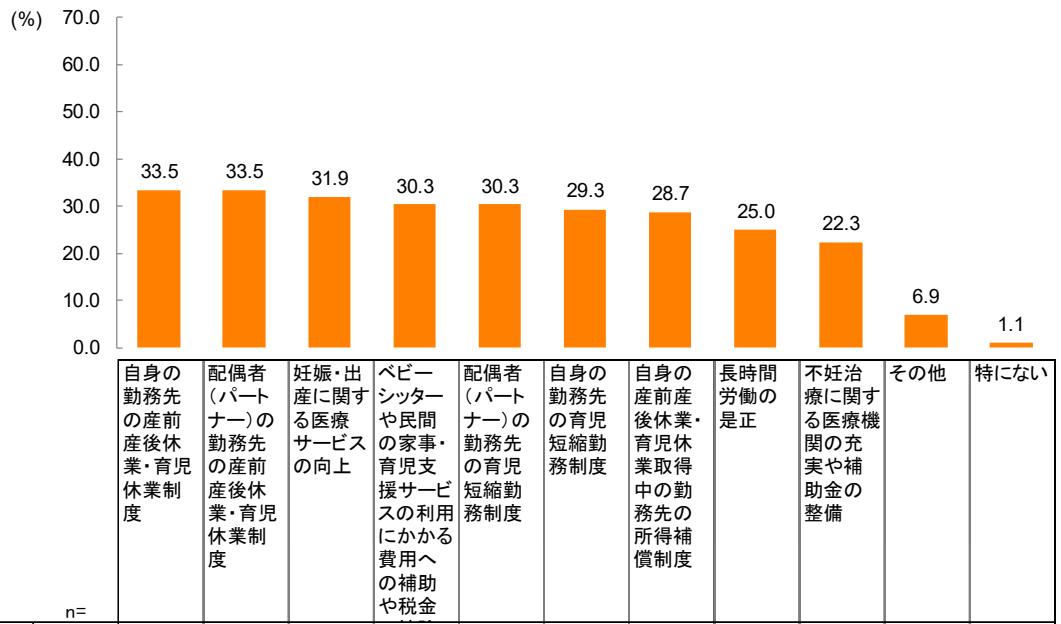
性別にみると、「配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力」「自分または配偶者（パートナー）の親の家事・子育てへの協力」「産婦人科の充実」は、男性よりも女性で高くなっている。

<問 16 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合>



	n=	配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力	幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	職場の理解	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減	幼稚園・保育所などの充実	自分または配偶者（パートナー）の親の家事・子育てへの協力	地域や自治体の育児支援サービスの充実	住居費用の補助	配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	産婦人科の充実
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	188	57.4	54.8	54.3	52.1	51.6	47.3	45.2	43.6	36.2	35.1	34.0
男性	71	38.0	57.7	50.7	45.1	52.1	43.7	32.4	49.3	42.3	31.0	19.7
女性	117	69.2	53.0	56.4	56.4	51.3	49.6	53.0	40.2	32.5	37.6	42.7

(前表のつづき)

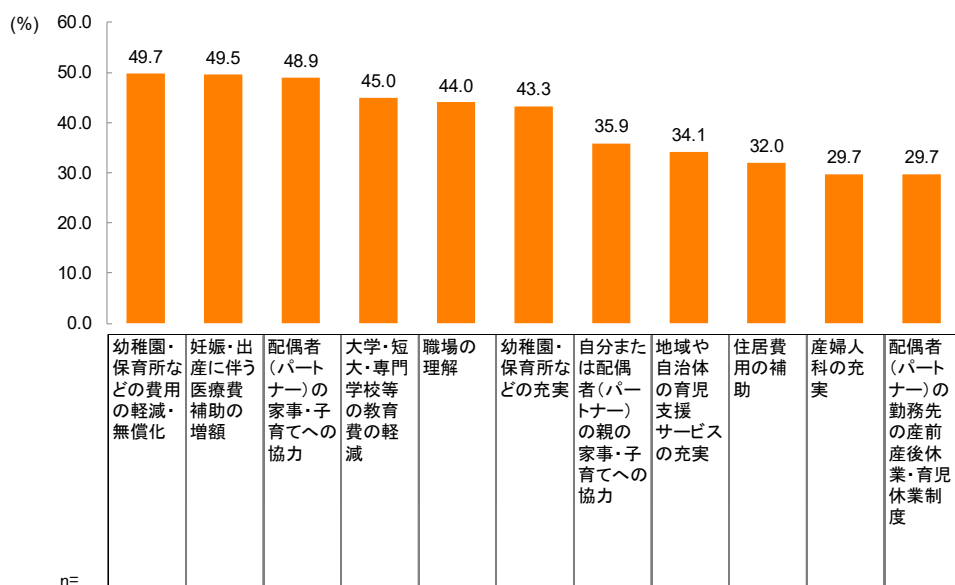


	n=	自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度	配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度	妊娠・出産に関する医療サービスの向上	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度	自身の勤務先の育児短縮勤務制度	自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	長時間労働の是正	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備	その他	特になし
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	188	33.5	33.5	31.9	30.3	30.3	29.3	28.7	25.0	22.3	6.9	1.1
男性	71	26.8	32.4	25.4	29.6	21.1	29.6	25.4	25.4	14.1	2.8	2.8
女性	117	37.6	34.2	35.9	30.8	35.9	29.1	30.8	24.8	27.4	9.4	0.0

既婚者の場合、「幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化」が49.7%と最も高く、以下、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(49.5%)、「配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力」(48.9%)と続く。

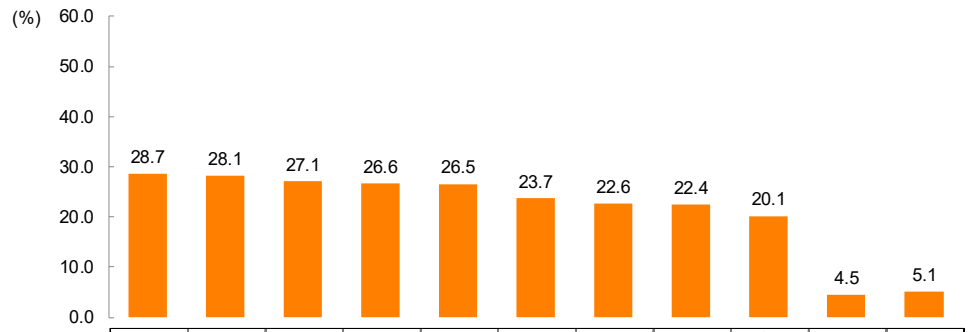
性・年代別にみると、「産婦人科の充実」は女性の30代が40.1%、40代が37.0%と高くなっている。「妊娠・出産に関する医療サービスの向上」は女性の10・20代が43.2%、30代が35.6%と高くなっている。

<既婚者の場合>



		n=	幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減	職場の理解	幼稚園・保育所などの充実	自分または配偶者(パートナー)の親の家事・子育てへの協力	地域や自治体の育児支援サービスの充実	住居費用の補助	産婦人科の充実	配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度
TOTAL		771	49.7	49.5	48.9	45.0	44.0	43.3	35.9	34.1	32.0	29.7	29.7
*性別×年代	■男性計	350	48.6	48.6	32.9	41.7	34.3	38.9	26.6	33.7	32.6	20.9	28.9
	10・20代	13	46.2	23.1	30.8	46.2	30.8	38.5	15.4	38.5	23.1	7.7	23.1
	30代	86	52.3	46.5	32.6	43.0	39.5	51.2	33.7	37.2	37.2	22.1	32.6
	40代	251	47.4	50.6	33.1	41.0	32.7	34.7	24.7	32.3	31.5	21.1	27.9
	■女性計	421	50.6	50.4	62.2	47.7	52.0	47.0	43.7	34.4	31.6	37.1	30.4
	10・20代	44	59.1	70.5	63.6	50.0	59.1	65.9	43.2	45.5	65.9	25.0	40.9
	30代	177	54.2	54.2	66.1	48.6	53.1	51.4	49.7	37.3	35.6	40.1	35.0
	40代	200	45.5	42.5	58.5	46.5	49.5	39.0	38.5	29.5	20.5	37.0	24.0

(前表のつづき)



		n=	自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度	妊娠・出産に関する医療サービスの向上	配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度	長時間労働の是正	自身の勤務先の育児短縮勤務制度	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金の控除	その他	特になし
TOTAL		771	28.7	28.1	27.1	26.6	26.5	23.7	22.6	22.4	20.1	4.5	5.1
*性別×年代	■男性計	350	24.9	25.4	26.6	22.6	18.6	23.4	22.9	18.3	15.4	3.4	7.7
	10・20代	13	30.8	0.0	30.8	30.8	0.0	23.1	15.4	23.1	0.0	0.0	15.4
	30代	86	29.1	27.9	29.1	26.7	20.9	29.1	25.6	20.9	19.8	5.8	5.8
	40代	251	23.1	25.9	25.5	20.7	18.7	21.5	22.3	17.1	14.7	2.8	8.0
	■女性計	421	31.8	30.4	27.6	29.9	33.0	24.0	22.3	25.9	24.0	5.5	2.9
	10・20代	44	36.4	43.2	40.9	34.1	18.2	31.8	31.8	40.9	22.7	2.3	2.3
	30代	177	33.3	35.6	32.8	31.1	33.3	28.8	26.0	29.4	26.0	5.1	0.6
	40代	200	29.5	23.0	20.0	28.0	36.0	18.0	17.0	19.5	22.5	6.5	5.0

問18 問15で「理想の子どもの数」が0人と回答した方にうかがいます。

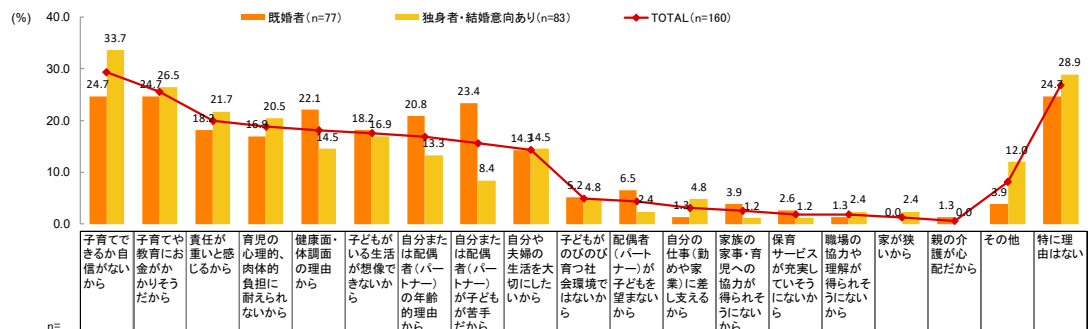
子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。

(回答はいくつでも)

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は、「子育てできるか自信がないから」(29.4%)、「子育てや教育にお金がかかりそうだから」(25.6%)、「責任が重いとを感じるから」(20.0%)が上位に挙げられている。

既婚者の場合、「自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから」が23.4%と、独身者より高くなっている。独身者の場合、「子育てできるか自信がないから」(33.7%)が3割を超えている。

婚姻状況・年代別にみると、40代既婚者は「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」が27.5%と高くなっている。



		n=	子育てできるか自信がないから	子育てや教育にお金がかかりそうだから	責任が重いとを感じるから	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	健康面・体調面の理由から	子どもがいる生活が想像できないから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	配偶者(パートナー)が子どもを望まないから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	家族の家事・育児への協力が得られないから	保育サービスが充実していないから	職場の協力や理解が得られないから	家が狭いから	親の介護が心配だから	その他	特に理由はない	
TOTAL		160	29.4	25.6	20.0	18.8	18.1	17.5	16.9	15.6	14.4	5.0	4.4	3.1	2.5	1.9	1.9	1.3	0.6	8.1	26.9	
*婚姻状況 ×年代	10-30代	83	32.5	27.7	26.5	24.1	16.9	20.5	7.2	14.5	19.3	7.2	3.6	3.6	2.4	1.2	2.4	2.4	1.2	2.4	33.7	
	40代	77	26.0	23.4	13.0	13.0	19.5	14.3	27.3	16.9	9.1	2.6	5.2	2.6	2.6	2.6	1.3	0.0	0.0	14.3	19.5	
	■既婚者 計	77	24.7	24.7	18.2	16.9	22.1	18.2	20.8	23.4	14.3	5.2	6.5	1.3	3.9	2.6	1.3	0.0	1.3	3.9	24.7	
	10-30代	26	26.9	30.8	23.1	26.9	26.9	26.9	7.7	26.9	23.1	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	23.1
	40代	51	23.5	21.6	15.7	11.8	19.6	13.7	27.5	21.6	9.8	3.9	7.8	2.0	3.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	25.5
	■独身者・結婚意向あり 計	83	33.7	26.5	21.7	20.5	14.5	16.9	13.3	8.4	14.5	4.8	2.4	4.8	1.2	1.2	2.4	2.4	0.0	12.0	28.9	
	10-30代	57	35.1	26.3	28.1	22.8	12.3	17.5	7.0	8.8	17.5	7.0	3.5	5.3	1.8	1.8	1.8	3.5	0.0	3.5	38.6	
	40代	26	30.8	26.9	7.7	15.4	19.2	15.4	26.9	7.7	7.7	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	30.8	7.7	

※グラフはTOTALの順でソート

問19 お子さんをお持ちのすべての方にうかがいます。
 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親と同居していましたか。
 （回答は1つ）【回答者：子どもが1人以上いる者】

男親の親と同居していた者は1割を超えており（父親：14.6%、母親：14.7%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割強（父親：33.3%、母親：34.4%）である。

女親の親と同居していた者は約1割（父親：10.9%、母親：11.1%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割強（父親：32.3%、母親：34.6%）である。

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いなかった ■わからない

	n=	(%)				
男親の父親	1655	14.6	33.3	31.8	19.0	1.3
男親の母親	1655	14.7	34.4	35.5	14.0	1.5
女親の父親	1655	10.9	32.3	37.6	17.9	1.2
女親の母親	1655	11.1	34.6	42.2	10.9	1.3

問20 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。（回答は1つ）
 【回答者：親が健在であった者】

女親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」は13.2%で、9割弱は手助けがあったと回答している。男親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」が30.6%であり、女親の父親と似た傾向を示している。一方、男親の父親からは、手助けは「ほとんどなかった」が4割強（42.5%）となっている。

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	(%)			
男親の父親	1320	42.5	38.3	11.5	7.7
男親の母親	1400	30.6	40.1	18.4	10.9
女親の父親	1338	27.9	45.7	16.7	9.7
女親の母親	1453	13.2	37.0	30.4	19.4

※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

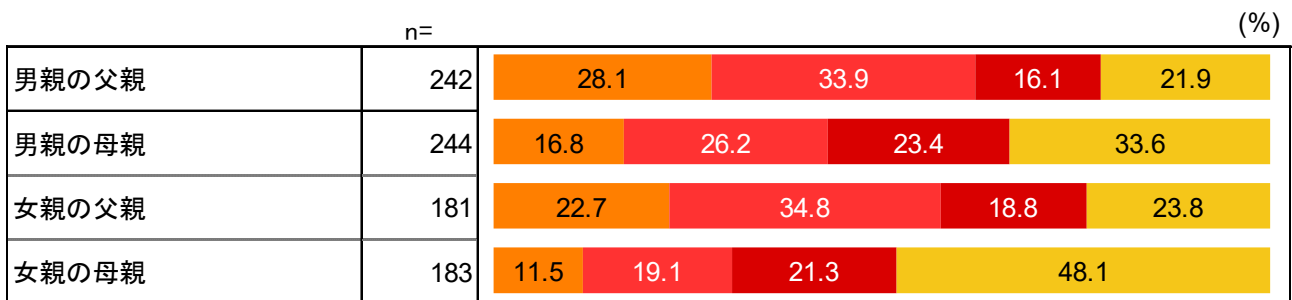
同居状況別にみると、同居の場合は手助けが日常的にあった割合が高く、別居（近居以外）の場合は手助けがほとんどない割合が高い。

同居の場合、女親の母親からは48.1%が、男親の母親からは33.6%が、手助けが「日常的にあった」としている。

一方、別居（近居）の場合、女親の母親からの手助けが「ひんぱんにあった」が4割となっている。また、男親の父親、男親の母親、女親の父親の手助けが「ときどきあった」はそれぞれ4割台となっている。

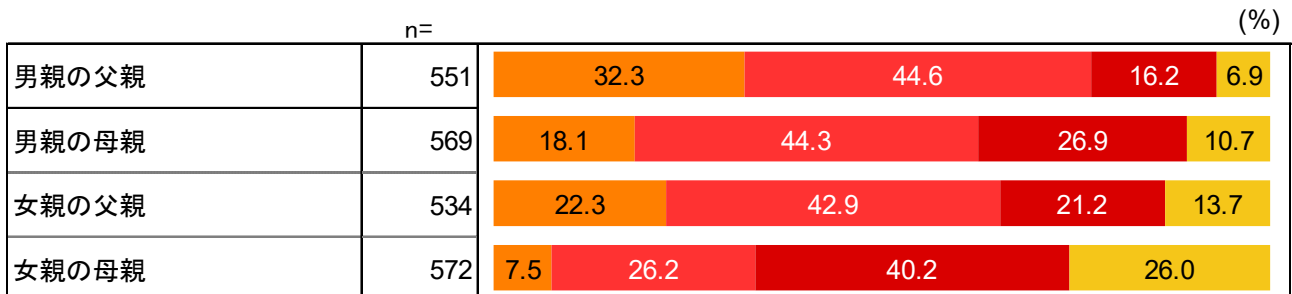
① 同居

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった



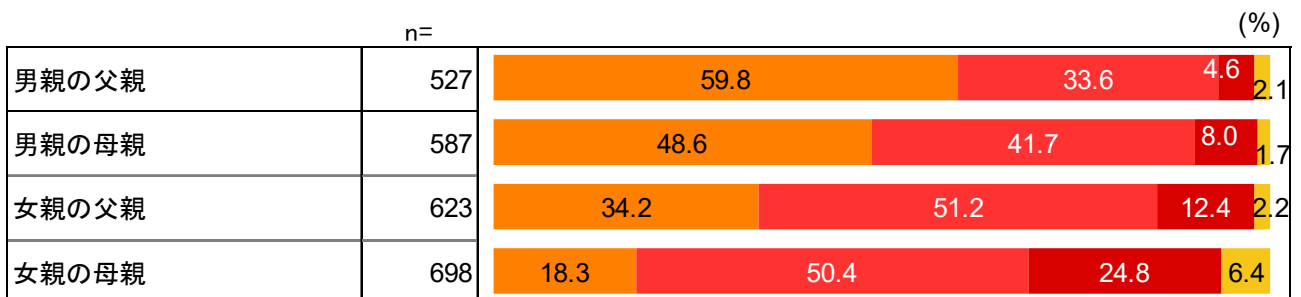
② 別居（近居）

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった



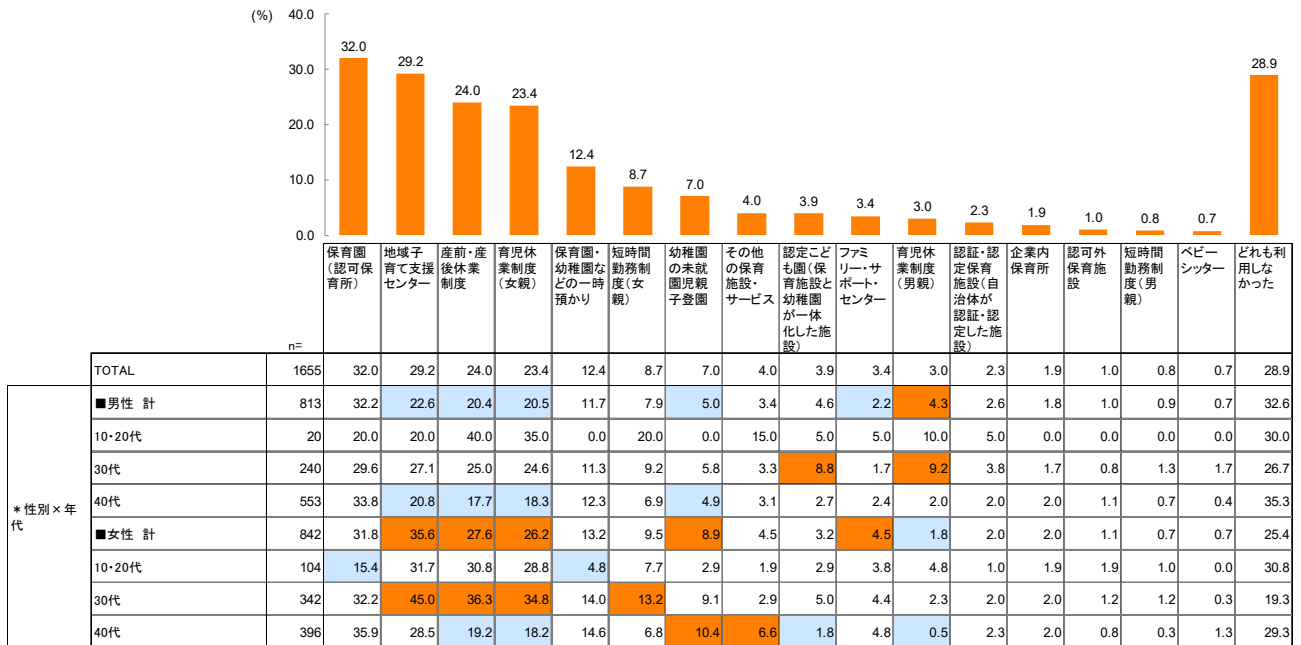
③ 別居（近居以外）

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

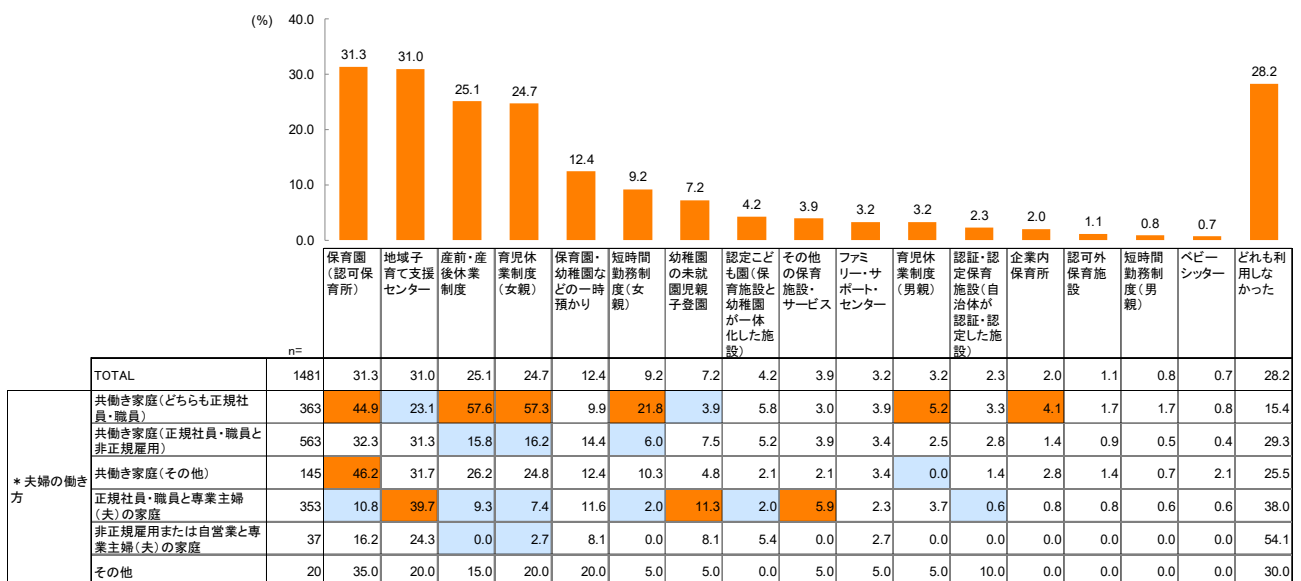


問21 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

利用した制度・施設は「保育園（認可保育所）」が32.0%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター」が29.2%、「産前・産後休業制度」が24.0%となっている。また、「育児休業制度（女親）」は23.4%となっているが、「育児休業制度（男親）」は3.0%にとどまっている。



夫婦の働き方別にみると、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では、「産前・産後休業制度」（57.6%）のほか、「育児休業制度（女親）」（57.3%）、「保育園（認可保育所）」（44.9%）を利用している割合が高い。

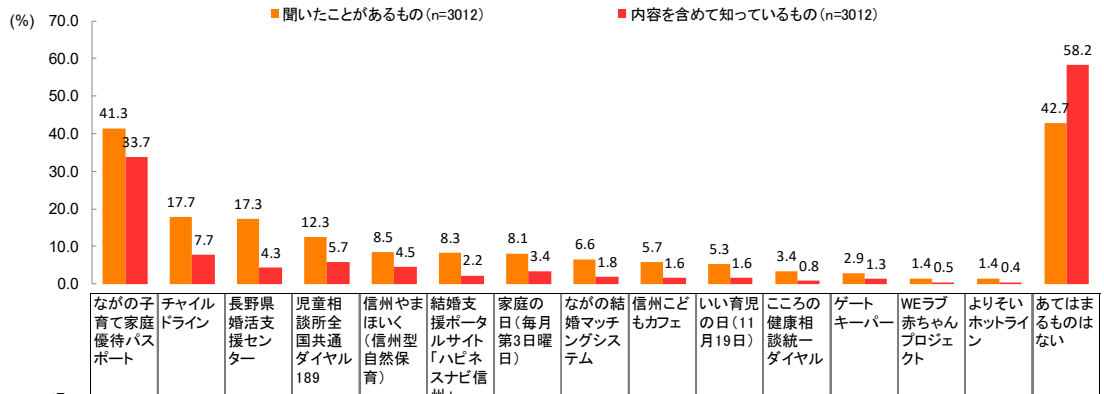


問22 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、聞いたことがあるものとしては、「ながの子育て家庭優待パスポート」(41.3%)が最も高く、次いで「チャイルドライン」(17.7%)、「長野県婚活支援センター」(17.3%)、「児童相談所全国共通ダイヤル189」(12.3%)となっている。

内容を含めて知っているものは、「ながの子育て家庭優待パスポート」(33.7%)が最も高い。

なお、既婚者・結婚経験者(離・死別者)のうち、子どもがいる人の「ながの子育て家庭優待パスポート」を聞いたことがあるものは55.7%、内容を含めて知っているものは51.2%であった。



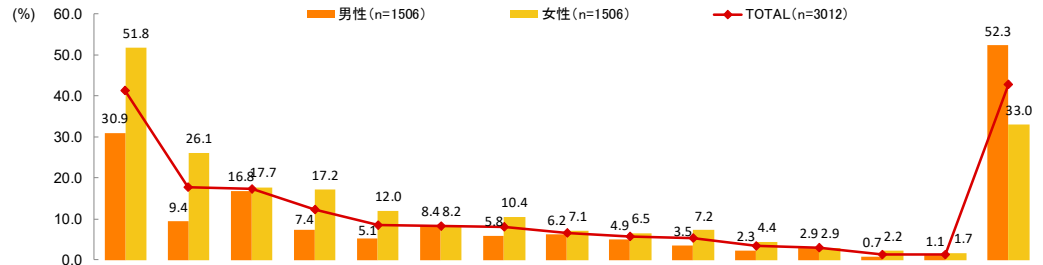
n=	聞いたことがあるもの	3012	41.3	17.7	17.3	12.3	8.5	8.3	8.1	6.6	5.7	5.3	3.4	2.9	1.4	1.4	42.7
内容を含めて知っているもの	3012	33.7	7.7	4.3	5.7	4.5	2.2	3.4	1.8	1.6	1.6	0.8	1.3	0.5	0.4	58.2	

※グラフは「聞いたことがある」の順でソート

性・年代別にみると、聞いたことがあるもの・内容を含めて知っているものともに、女性は男性よりも割合が高い項目が多い。特に、「ながの子育て家庭優待パスポート」は、女性30～40代で内容を含めて知っている割合が4割台となっている。

男性10・20代では、他の項目と比べて、「チャイルドライン」を聞いたことがある割合が25.4%と高くなっている。

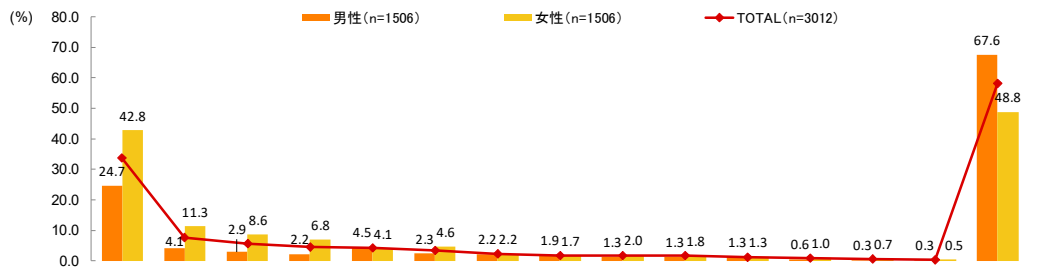
① 聞いたことがあるもの



n=		3012	41.3	17.7	17.3	12.3	8.5	8.3	8.1	6.6	5.7	5.3	3.4	2.9	1.4	1.4	42.7
*性別×年代	TOTAL	3012	41.3	17.7	17.3	12.3	8.5	8.3	8.1	6.6	5.7	5.3	3.4	2.9	1.4	1.4	42.7
	■男性計	1506	30.9	9.4	16.8	7.4	5.1	8.4	5.8	6.2	4.9	3.5	2.3	2.9	0.7	1.1	52.3
	10・20代	142	16.9	25.4	12.0	9.9	3.5	5.6	2.8	4.9	4.9	3.5	1.4	2.8	0.7	2.1	61.3
	30代	465	35.3	7.7	16.6	6.9	5.6	11.0	4.3	7.5	5.2	4.5	3.4	3.4	0.9	0.9	50.3
	40代	899	30.8	7.7	17.7	7.2	5.1	7.6	7.1	5.7	4.8	2.9	1.9	2.7	0.6	1.0	51.9
	■女性計	1506	51.8	26.1	17.7	17.2	12.0	8.2	10.4	7.1	6.5	7.2	4.4	2.9	2.2	1.7	33.0
	10・20代	310	42.9	40.3	11.6	16.5	6.5	3.9	3.9	4.5	5.5	8.7	8.1	1.9	1.3	4.2	34.2
	30代	573	52.9	18.3	20.2	18.3	15.4	10.3	8.0	8.0	6.8	9.1	3.0	3.1	4.0	1.6	32.3
40代	623	55.2	26.2	18.5	16.5	11.6	8.3	15.7	7.5	6.7	4.8	4.0	3.2	1.0	0.6	33.1	

※グラフはTOTALの順でソート

② 内容を含めて知っているもの

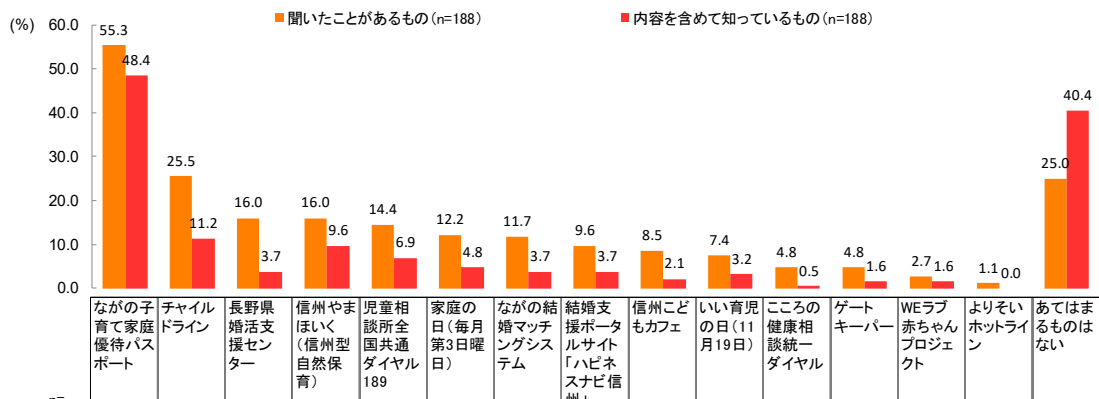


n=		3012	33.7	7.7	5.7	4.5	4.3	3.4	2.2	1.8	1.6	1.6	1.3	0.8	0.5	0.4	58.2
*性別×年代	TOTAL	3012	33.7	7.7	5.7	4.5	4.3	3.4	2.2	1.8	1.6	1.6	1.3	0.8	0.5	0.4	58.2
	■男性計	1506	24.7	4.1	2.9	2.2	4.5	2.3	2.2	1.9	1.3	1.3	1.3	0.6	0.3	0.3	67.6
	10・20代	142	13.4	14.1	5.6	1.4	2.1	0.7	2.1	1.4	0.7	0.7	2.1	1.4	0.7	0.7	73.9
	30代	465	27.3	3.0	1.9	2.4	4.9	1.9	2.6	2.2	2.2	1.7	1.3	0.6	0.0	0.4	65.8
	40代	899	25.1	3.0	3.0	2.2	4.7	2.7	2.0	1.8	0.9	1.2	1.2	0.4	0.4	0.2	67.5
	■女性計	1506	42.8	11.3	8.6	6.8	4.1	4.6	2.2	1.7	2.0	1.8	1.3	1.0	0.7	0.5	48.8
	10・20代	310	34.8	18.4	8.1	2.3	1.6	1.0	1.3	0.3	1.3	1.3	1.0	1.9	0.0	1.6	53.9
	30代	573	44.5	5.6	9.4	9.1	4.0	3.8	3.5	1.9	2.1	2.4	1.4	0.7	1.4	0.2	46.4
40代	623	45.1	13.0	8.0	7.1	5.5	7.1	1.4	2.2	2.2	1.4	1.4	0.8	0.5	0.3	48.5	

※グラフはTOTALの順でソート

問 16 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合、聞いたことがあるもの・内容を含めて知っているものともに、「ながの子育て家庭優待パスポート」が最も高い。

<問 16 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合>



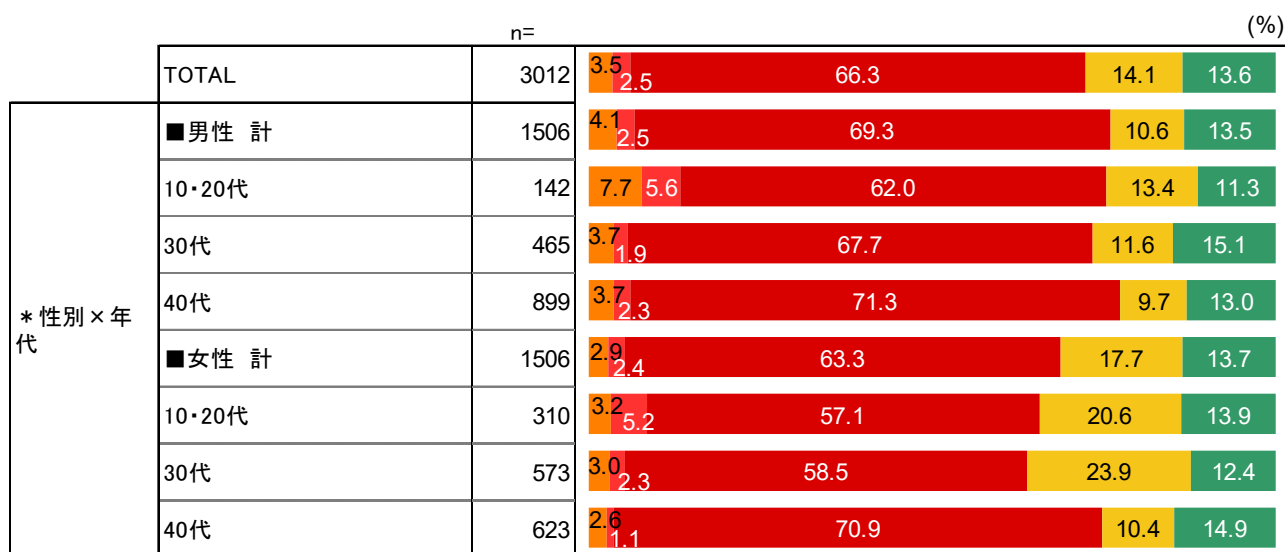
	n=	聞いたことがあるもの	チャイルドライン	長野県婚活支援センター	信州やまほいく(信州型自然保育)	児童相談所全国共通ダイヤル189	家庭の日(毎月第3日曜日)	ながの結婚マッチングシステム	結婚支援ポータルサイト「ハビネスナビ信州」	信州こどもカフェ	いい育児の日(11月19日)	こころの健康相談統一ダイヤル	ゲートキーパー	WEラボ赤ちゃんプロジェクト	よりそいホットライン	あてはまるものはない
聞いたことがあるもの	188	55.3	25.5	16.0	16.0	14.4	12.2	11.7	9.6	8.5	7.4	4.8	4.8	2.7	1.1	25.0
内容を含めて知っているもの	188	48.4	11.2	3.7	9.6	6.9	4.8	3.7	3.7	2.1	3.2	0.5	1.6	1.6	0.0	40.4

問23 結婚・出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

結婚・出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響については、「結婚・出産に対する気持ちに影響はない」が7割弱(66.3%)となっている。一方、「前向きになった」「やや前向きになった」は1割弱(6.0%)、「やや後ろ向きになった」「後ろ向きになった」は約3割(27.7%)となっている。

性・年代別にみると、女性10~30代は「結婚・出産に対してやや後ろ向きになった」が2割台となっており、ほかの性・年代より高い。

- 結婚・出産に対して前向きになった
- 結婚・出産に対する気持ちに影響はない
- 結婚・出産に対して後ろ向きになった
- 結婚・出産に対してやや前向きになった
- 結婚・出産に対してやや後ろ向きになった



婚姻状況別にみると、独身者では、結婚意向ありは「前向きになった」「やや前向きになった」が男性12.4%、女性13.4%と、結婚意向なしより高くなっている。

既婚者では、子供の有無にかかわらず、女性は「やや後ろ向きになった」「後ろ向きになった」が3割強と男性に比べて高い（「子供がいる」34.2%、「子どもはいない」34.5%）。

- 結婚・出産に対して前向きになった
- 結婚・出産に対してやや前向きになった
- 結婚・出産に対する気持ちに影響はない
- 結婚・出産に対してやや後ろ向きになった
- 結婚・出産に対して後ろ向きになった

		n=	(%)				
独身者・結婚意向あり	■男性 計	289	6.2	6.2	67.5	10.0	10.0
	10・20代	63	6.3	7.9	69.8	9.5	6.3
	30代	97	4.1	3.1	71.1	6.2	15.5
	40代	129	7.8	7.8	63.6	13.2	7.8
	■女性 計	292	5.5	7.9	64.7	14.4	7.5
	10・20代	122	4.1	8.2	63.9	18.9	4.9
	30代	95	5.3	9.5	57.9	16.8	10.5
	40代	75	8.0	5.3	74.7	4.0	8.0
独身者・結婚意向なし	■男性 計	297	1.3	1.0	66.0	7.4	24.2
	10・20代	43	4.7	2.3	69.8	2.3	20.9
	30代	76	1.3		67.1	9.2	22.4
	40代	178	1.1	0.6	64.6	7.9	25.8
	■女性 計	274	4.1	1.1	66.8	9.1	22.6
	10・20代	61	1.6		67.2	13.1	18.0
	30代	73	1.4		58.9	11.0	28.8
	40代	140	1.4		70.7	6.4	21.4
既婚者・子どもがいる	■男性 計	750	3.6	1.9	72.7	11.2	10.7
	10・20代	19	5.3	5.3	52.6	26.3	10.5
	30代	227	4.4	1.8	68.3	12.8	12.8
	40代	504	3.2	1.8	75.4	9.9	9.7
	■女性 計	731	2.6	1.1	62.1	21.3	12.9
	10・20代	94	3.2	5.3	44.7	26.6	20.2
	30代	315	1.9	0.6	59.4	27.9	10.2
	40代	322	3.1	0.3	69.9	13.4	13.4
既婚者・子どもはいない	■男性 計	170	7.1	1.8	63.5	14.7	12.9
	10・20代	17	23.5	5.9	23.5	41.2	5.9
	30代	65	4.6	1.5	61.5	18.5	13.8
	40代	88	5.7	1.1	72.7	6.8	13.6
	■女性 計	209	3.3	1.0	61.2	20.6	13.9
	10・20代	33	3.0	3.0	48.5	24.2	21.2
	30代	90	6.7	1.1	55.6	27.8	8.9
	40代	86			72.1	11.6	16.3

問24 結婚・子育て支援や若者支援について、県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

結婚・子育て支援や若者支援について自由回答で聞いたところ、数多くの回答が寄せられた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、代表的・具体的な内容等を、できる限り原文に近い表記で掲載している。

【相談・情報に関すること】

- ・ せっかく設けているサービス、支援等がよく知られていないので、出産病院や健康診断等で情報を配布すればいいと思う。今回のアンケートで初めて聞くものが多かった。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 支援制度があっても知らないものが多いので、もっと誰もが知ってるくらいに通知するシステムを構築するべきではないでしょうか。（男性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ web 上で子育てに関する情報共有の場があればと思う。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 婚活に関して相談できる場所がありますが、異性との交際について悩んでいることを相談できる場所は無いように思います。私も実際、悩んでいることがあって家族にも言えないでいます。このような場所が欲しいです。（女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 県外から来る者は、地元で育った人達に比べ、地縁も血縁もなく、馴染みにくい部分があります。県外の人達が集まって、話や悩みを打ち明けられる、様々な情報を得られる場所が地域ごとにあると救われる人達もいると思います。孤独にならないように、手厚くサポートしてあげられる、そんな環境であってほしいです。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）

【施設や設備に関すること】

- ・ 天候に関係なく、子供を連れて遊びに行き発散できる場所がほしい。そして、そこで出会った子たちと一緒に何かできるイベントがあれば、友達を作りやすく、相談相手もできるかもしれない。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ もう少し、小さい子どもも遊べる公園や、授乳室などの施設を充実させてほしい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 公園はあるが、公園利用者の駐車場がないところが多くて困る。歩いて行ける距離の公園は何度も行っていると子供も飽きてしまうから違うところにも思っても、駐車場がないと結局選択肢から外すようになり、どこへ行こうかと迷う。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子供を安全に遊ばせられる公園に車を使わなくても行ける、公共の乗り物の整備をして欲しい。公園に行きたくても駐車場の問題で日々悩んでいるので。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ ベビーカーを使っていた頃、エレベーターや交通機関を利用するのが大変だった。特にエレベーターは狭く、邪魔になるから乗らない方がいいと考えさせられたことがあった。子育て世代専用の交通機関やエレベーターがあったらと思ったこともあった。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 通学路になっている道路は車の通行量が多いが、歩道の整備がきちんとされていない所が多く危ないので、整備（歩道の幅の拡張、歩道に生い茂っている雑草の撤去など）を進めてほしい。（女性 40 代、既婚者、子どもはいない）

【結婚支援全般に関すること】

- ・ もっと自治体が出会いの機会を設けている事をアピールするべきだと思う。告知の方法をもっと考えたらどうかと思う。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 公的な結婚マッチング的な支援があると活用したいと考えます。民間アプリ等は怖さもあり、手が出せない面もあるので。（男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）

- ・ 利用するのに抵抗があるので、何か気軽に利用できるような入口がほしいです。（女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 婚活に興味があってもどんなイベントがあるか分からない。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 同じ地区の多くの後輩たちが独身者で、婚活もあまりしていない現状なので、婚活パーティーを増やして欲しい。親同士の婚活もしてほしい。今後の地区がとても心配です。多くの若者が結婚できるように、サポートをお願いします。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）

【出産支援全般に関すること】

- ・ コロナの影響で産前のお産教室が軒並みキャンセルとなったので産前はとても不安が大きかったです。集会形式の講習だけではなく、オンラインや紙媒体の配布等、いろんな形での支援があればいいなと思いました。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 妊婦検診を全額補助してほしい。お腹の不調で病院にかかりたいが、補助券を使い切ってしまったので病院に行かなかったことがあったため。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 自分の両親が県外に住んでおり、仕事もしているため、家事等を手伝ってもらうことが難しく、出産後にゆっくり休めませんでした。助産院の短期宿泊も考えましたが、金額も高く利用しませんでした。家事の手伝いを頼んだり、助産院への短期宿泊の利用をするのに、費用の助成があるとありがたいです。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 専業主婦が産前産後に保育園を利用できる期間を延長して欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 住んでいる地域では出産ができる病院が 1 箇所しかなく、どんなに嫌だと感じても選択肢がありません。子育ても大切ですが、まずは安心して子供を産める環境を作してほしいです。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ なかなか子どもができず、悩んでいます。夫は検査することに抵抗があるようで、病院で相談もできず、また知り合いに見られるかもしれないという不安から、産婦人科に行くのも躊躇してしまいます。実際に病院に行かなくても相談できるフリーダイヤルのサービスや、チャットのサービスがあったら有難いです。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）

【若者支援全般に関すること】

- ・ 長野県の企業は、未経験の若者をもっと積極的に採用してほしいです。経験者ばかりとっていて、他の県より採用についてかなり時代が遅れています。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ i ターンを推奨している割に、この歳になるまで採用されず、ずっと臨時任用という不安定かつ低収入の私たちに何を支援してくれたでしょう。結婚や定住なんてできません。（男性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 中学までは適応指導教室(中間教室)、高校は定時制や通信制といった不登校の生徒・学生の受け皿があるが、学校卒業後は受け皿がない(サポステなどを含む就労支援機関は除く)。もっと気軽に地域のコミュニティー内で引きこもり青年の外出を促せる場所があったら良いのと思う。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 結婚して県内に引っ越し、会社を退職せざるを得なくなった時の転職支援があればありがたいです。県、市町村が協力して、結婚等で新たに転入して来た人へその地域の特徴やどのような業種の企業が多いか等の案内をして頂き、少しでも早くその土地へ慣れ長く住み続けてもらえるような支援があればうれしいと思います。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）

【仕事と子育ての両立支援に関すること】

- ・いつでも職場復帰できるように、保育園の受け入れ人数には余裕をもたせてほしい。復帰したい時に保育園の空きが無いと、働く機会を失ってしまう。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・認可保育園は、ほぼ待機児童なく就労時間は預かってはいますが、小学校に上がった時の児童館が保育園より短い時間だと聞いて、フルタイム勤務は難しくなりそうで悩んでいます。児童館の預かり時間の延長を検討してもらいたいです。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・育児休暇を職場からの要請で半分に切り上げた。その後も職場の理解が得られず両立が難しく正規職員を退職した。とても辛かった。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、今年はPTAの集まりや学校行事がなく、とても良かった。共働きだと「どちらが休むか」で口論になることがある。3人子どもが欲しかったが、色々なことが面倒になってしまい、もう子どもは望んでいない。学校行事を見直したりPTAの仕事なども改革していくように働きかけてほしい。有休を使って休んでも、子どものことに時間を取られて自分の時間がまったく取れない。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)

【子育て支援全般に関すること】

- ・県外出身で、長野県の育児、教育事情が全く分からない。そんな人でも参加しやすく、勉強しやすい子育てイベントがあると嬉しい。(女性 30 代、既婚者、子どもはいない)
- ・どちらの両親も遠方で、夫は夜間の仕事のため、平日は一人で育児しており、いざという時に頼れる人がいないため、気軽に頼れるサポートがほしいです。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・出産してから幼稚園に入るまで健康診断を受けたくても子供を連れて行くのは気が引けるから子供連れオンリーの日がある公共の病院があったら良い。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・一時保育を利用しやすくしてほしい。今のままでは、母親の病院受診時に子どもを預けるところがなく、病状が相当悪化してからか、旦那が休みが取れた時でない病院にも行けない。また、子連れのコロナ対策にも力を入れて欲しい。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・子供連れで電車やバスは大変。車のない人は大変です。小児科の数が足りないと思う、どこいっても混んでいる。子供連れでゆっくり食事できる場所も少ない(お店の中で子どもを預けるところがあると助かる)。児童手当を上げて欲しい。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・子供が急病で保育園を休まなければいけなくなった時にも預かってもらえる施設があればいいと思う。(男性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・住んでいる近くに保育園は複数あるのに幼稚園がない。幼稚園バスがある幼稚園を希望したが、こども園になった為に1号認定の定員が減り募集が無かった。一番近い幼稚園は自転車でも行ける距離だが、歩道が無い所が多く危ない。仕方なく車で送り迎えしているが辛いのでこれ以上子供は欲しくない。(女性 30 代、既婚者、子どもがいる)
- ・以前住んでいたところでは、時短のパートは子どもを児童館に預けられず、夏休みや冬休みに小学1年生から自宅に放置して仕事に出なければならず、今でも子どもに申し訳なかったと思っています。近くに親が居ない家庭だってあるのだから、親に助けて貰えなくても子育てできる環境にしてほしいです。(女性 40 代、既婚者、子どもがいる)
- ・妊娠出産子育てで仕事ができない時期とマイホーム購入時期が被って、お金がない時にお金がたくさんかかるのがかなりの負担です。子育てやマイホーム購入にもっと補助がほしいです。(女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる)
- ・もっと金銭的な補助が小さい子供の時だけでなく、成人するまでの補助があると良いと思う。小さい時は、あまりお金がかからないがおおきくなるにつれお金がかかるようになるから。(男性 30 代、既婚者、子どもがいる)

【その他】

- ・ 結婚することやそれ以降のライフプランなどへのアドバイスをしてもらいたい、経済的にも心理的にも不安がたくさんあるので。（女性 40 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 子育てにはお金の問題もありますが、田舎ではそれよりも少子高齢化で近所に同世代がほとんどいないことが悩みとしている方がけっこういます。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 出会いが見つかる環境作りや子育て育児で安心がある事が大切だと思いました。同級生の中でも結婚した人が多く、その中でも遅れ組で、同じ境遇の人が少ない為、相談する場所も無いのが、今の現状です。そういう人もハッピーになれるような環境作りを考えて欲しいです。（男性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 職場の賃金上昇が実感できるくらいあれば、皆子供つくことに前向きになると思う。実感として支出ばかりが増えていて、収入が増えないという人が多いから、守りに入る人がこれから多くなると思う。（男性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 正社員として勤めているが税金が多すぎてとても子供を持つとは思わない。夫婦二人で満足できる生活を送っているが子供ができると失うものが多すぎるため税金軽減や子育て手当など金銭的な援助が必要。（男性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 大きい県なので、勤務地の移動も大きい中、なかなか子供がいると、移動をともにできないので、単身赴任になりやすく、その面での支援を拡充してほしい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 発達障害を抱えている子供の育児に対して、理解があり相談にのってもらえる機関やサポートしてくれる機関が増えると良いと思う。特に連休中のトラブルに対応してくれる機関が足りない。（女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 障害のある子どもを預かれるサービス(放課後等デイサービスなど)をもっと増やして欲しい。土日祝日対応の事業所が少ない。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 育児学級やイクメン冊子では、なかなか育児に参加してもらえませんでした。家事育児はしたくない、家族にお金を使いたくない、1人になりたいと言われ離婚することになりました。男親の育児に対する根本的な意識改革がされない限り少子化は止められないと思います。（女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 相談できる外部機関が少ないし、気軽に出来ないから、虐待などに繋がると思います。親の気持ちを聞いたり、寄り添い、アドバイスできる機関があれば、かなり問題は減ると思う。親も人間ですから、感情をコントロール出来ないこともある。でも身近に話が出来るところがあれば、状況は変わると思う。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 子どもたちが笑って過ごせるためには、たくさんの大人の力が必要だと思います。他人など関係なく地域の皆で育てられるような環境作りをしてほしいです。せっかく田舎に引っ越してきたのに、のびのび出来ないのはかわいそうで。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）

附属資料(調査票)

本調査

長野県民の結婚・出産・子育てに関するアンケート

このアンケートは、以前のアンケートで長野県にお住まいとご回答された方を対象にお送りしています。

このアンケートには、結婚・出産・子育ての状況やお考えをうかがう内容が含まれています。長野県にお住まいの皆様のご意見をおうかがいし、今後の事業に役立てることを目的として行うものです。アンケートの回答はすべて個人が特定できないように処理をしたうえで使用させていただきます。

趣旨をご理解のうえ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についておうかがいする場合があります。

このアンケートには年収についてうかがう内容が含まれています。

6月1日時点の状況でお答えください。

共通パート

Q 1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性

2 女性

Q 2 あなたの年齢をお答えください。

歳

Q 3 あなたがお住まいの地域をお答えください。(回答は1つ)

1 <佐久地域> 小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町

2 <上小地域> 上田市、東御市、長和町、青木村

3 <諏訪地域> 岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村

4 <上伊那地域> 伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村

5 <飯伊地域> 飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

6 <木曾地域> 上松町、南木曾町、木曾町、木祖村、王滝村、大桑村

7 <松本地域> 松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村

8 <大北地域> 大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村

9 <長野地域> 長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村

10 <北信地域> 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村

11 この中にはない

Q 4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

1 現在、結婚(事実婚を含む)している

3 結婚したことはない

2 結婚していたが、現在は離・死別した

独身者パート < Q 4 で 2、3 と回答した人に >

【ここからは「独身の方」に、結婚や現在の生活などについてうかがいます。】

Q 5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|------------|
| 1 | すでに結婚する予定がある | 4 | いずれは結婚したい |
| 2 | すぐにでも結婚したい | 5 | 結婚するつもりはない |
| 3 | 2・3年以内に結婚したい | 6 | わからない |

Q 6 (Q 5 で 1～4 と回答した人に)

あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|------------------------|
| 1 | お金を自由に使えるか |
| 2 | 職業を自由に選べるか |
| 3 | 仕事(または学業)の時間を自由に取れるか |
| 4 | 余暇や遊びの時間を自由に取れるか |
| 5 | 住む場所が制約されないか |
| 6 | 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか |
| 7 | ファッションや食べ物などの好み制約されないか |
| 8 | 相手の両親とうまく付き合えるか |
| 9 | 自由な人生設計ができるか |
| 10 | 自分に子育てができるか |
| 11 | その他 具体的に:() |
| 12 | 特に気になることはない |

Q 7 (Q 5 で 2～5 と回答した人に)

あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 結婚するにはまだ若すぎるから |
| 2 | 結婚する必要性を感じないから |
| 3 | 仕事(または学業)に打ち込みたいから |
| 4 | 仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから |
| 5 | 趣味や娯楽を楽しみたいから |
| 6 | 独身の自由さや気楽さを失いたくないから |
| 7 | 適当な相手にまだめぐり会わないから |
| 8 | 異性とうまく付き合えないから |
| 9 | 結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない |
| 10 | 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 11 | 子育てする自信がないから |
| 12 | 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から |
| 13 | 親の面倒を見る(介護をする)必要があるから |
| 14 | 名字を変えたくないから |
| 15 | その他 具体的に:() |
| 16 | これ以上理由はない |

Q 8 (Q 7で7と回答した人に)

「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)

- 1 そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない
- 2 同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がない
- 3 結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう
- 4 好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない
- 5 そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない
- 6 交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない
- 7 その他 具体的に：()
- 8 答えたくない

Q 9 (Q 5で2～4と回答した人に)

あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。(回答はいくつでも)

- 1 友人、職場の同僚や先輩に頼む
- 2 合コンに参加する
- 3 インターネットサイト・SNS を活用する
- 4 婚活パーティーに参加する
- 5 趣味のサークルに入る
- 6 お見合いをする
- 7 民間の結婚相談所に登録する
- 8 市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する
- 9 その他 具体的に：()
- 10 特に行っていない・行う予定はない

Q10 (Q 9で10と回答した人に)

婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも)

- 1 忙しくて時間がないから
- 2 自然な流れで出会いたいから
- 3 交際相手がいるから
- 4 面倒だから
- 5 そこまでする必要を感じないから
- 6 何をすればよいかわからないから
- 7 婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから
- 8 婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから
- 9 婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから
- 10 婚活サービスは参加料金が安いから
- 11 婚活サービスは日程が合わないから
- 12 その他 具体的に：()
- 13 答えたくない

既婚者パート < Q 4 で 1 と回答した人に >

【ここからは「結婚されている方（事実婚を含む）」にうかがいます。】

【あなた方ご夫婦の結婚までの経過についてうかがいます。】

Q11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。（回答は1つ）

1 学校で	8 結婚相談所で
2 職場や仕事の関係で	9 インターネットサイトや SNS で
3 アルバイトで	10 婚活イベントで
4 幼なじみ、隣人関係	11 地域のイベントで
5 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	12 街なかや旅先で
6 友人やきょうだいを通じて	13 その他 具体的に：()
7 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）	

共通パート

【すべての方のうかがいます。】

Q12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

- (1) あなたご自身
- (2) あなたの配偶者（パートナー）

1 正規の社員・職員	5 無職・家事
2 パート・アルバイト	6 学生
3 派遣・嘱託・契約社員	7 その他 具体的に：()
4 自営業主・家族従業員	

Q13 (Q 4 で 1、2 と回答した人、Q 5 で 1～4 と回答した人に)

あなたは、結婚や出産（ご自身または配偶者・パートナー）、子育てなどの将来設計について考えたことがありますか。（回答はそれぞれ1つ）

※結婚経験がある方は、結婚前についてお答えください。

- (1) 結婚について
- (2) 出産について
- (3) 子育てについて

1 考えたことがある	2 考えたことがない
------------	------------

Q14 (Q 4 で 1、2 と回答した人、Q 5 で 1～4 と回答した人に)

希望（希望していた）と実際の結婚年齢をお答えください。また、子どもを持ちたい（持ちたかった）年齢と実際に持った年齢をお答えください。

- (1) 希望の（希望していた）結婚年齢 歳
考えたことはない・覚えていない
- (2) 子どもを持ちたいと考えている（考えていた）年齢 歳
考えたことはない・覚えていない
- (3) 結婚した年齢 歳
覚えていない
- (4) 第1子が生まれた時のご自身の年齢 歳
子どもはいない
覚えていない

【ここからは、出産や子育てについてうかがいます。】

Q15 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

※0人の場合は「0」を入力してください。

(1) 現在の子どもの数

人

※妊娠中の子は含めない

(2) 理想の子どもの数

人

※出産や子育てのハードルが無いと仮定した場合に
欲しい子どもの数(今いる子や妊娠中の子を含む)

(3) 実際に持つつもり(予定)の子どもの数

人

※今いる子や妊娠中の子を含む

【Q15で、「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q16 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。(回答はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから2 家が狭いから3 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから4 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから6 自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから8 健康面・体調面の理由から9 家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから10 家族(パートナー)が望まないから11 自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから12 その他 具体的に:()13 特に理由はない |
|--|

【Q15 で、「実際に持つつもり（予定）の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q17 2人、3人と出産し、育てていくためには、どんなことが必要だと思われますか。（回答はいくつでも）

- 1 妊娠・出産に伴う医療費補助の増額
- 2 妊娠・出産に関する医療サービスの向上
- 3 産婦人科の充実
- 4 不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備
- 5 幼稚園・保育所などの充実
- 6 幼稚園・保育所などの費用の軽減・無償化
- 7 地域や自治体の育児支援サービスの充実
- 8 ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助や税金の控除
- 9 大学・短大・専門学校等の教育費の軽減
- 10 住居費用の補助
- 11 自分または配偶者（パートナー）の親の家事・子育てへの協力
- 12 自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度
- 13 自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度
- 14 自身の勤務先の育児短縮勤務制度
- 15 配偶者（パートナー）の家事・子育てへの協力
- 16 配偶者（パートナー）の勤務先の産前産後休業・育児休業制度
- 17 配偶者（パートナー）の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度
- 18 配偶者（パートナー）の勤務先の育児短縮勤務制度
- 19 職場の理解
- 20 長時間労働の是正
- 21 その他 具体的に：（ ）
- 22 特にない

【Q15 で、「理想の子どもの数」が0人と回答した方にうかがいます。】

Q18 子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。（回答はいくつでも）

- 1 責任が重いとを感じるから
- 2 子育てや教育にお金がかかりそうだから
- 3 保育サービスが充実していそうにないから
- 4 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- 5 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
- 6 職場の協力や理解が得られそうにないから
- 7 子どもがいる生活が想像できないから
- 8 自分または配偶者（パートナー）が子どもが苦手だから
- 9 配偶者（パートナー）が子どもを望まないから
- 10 家が狭いから
- 11 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
- 12 自分または配偶者（パートナー）の年齢的理由から
- 13 健康面・体調面の理由から
- 14 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
- 15 家庭の家事・育児への協力が得られそうにないから
- 16 親の介護が心配だから
- 17 子育てできるか自信がないから
- 18 その他 具体的に：（ ）
- 19 特に理由はない

【お子さんをお持ちのすべての方にかがいます。】

Q19 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親と同居していましたか。
（回答はそれぞれ1つ）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	同居	別居（近居）	別居（近居以外）	いなかった	わからない
あなたの父親	1	2	3	4	5
あなたの母親	1	2	3	4	5
配偶者（パートナー）の父親	1	2	3	4	5
配偶者（パートナー）の母親	1	2	3	4	5

※「近居」は徒歩で30分程度の距離とお考えください。

Q20（Q19で1～3と回答した人に）

お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	ほとんどなかった	ときどきあった	ひんぱんにあった	日常的にあった
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の父親	1	2	3	4
配偶者（パートナー）の母親	1	2	3	4

Q21 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。（回答はいくつでも）

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在までの状況についてお答えください。

1 産前・産後休業制度
2 育児休業制度（男親）
3 育児休業制度（女親）
4 短時間勤務制度（男親）
5 短時間勤務制度（女親）
6 保育園（認可保育所）
7 認証・認定保育施設（自治体が認証・認定した施設）
8 認定こども園（保育施設と幼稚園が一体化した施設）
9 企業内保育所
10 認可外保育施設
11 ベビーシッター
12 ファミリー・サポート・センター
13 保育園・幼稚園などの一時預かり
14 地域子育て支援センター
15 幼稚園の未就園児親子登園
16 その他の保育施設・サービス

17 どれも利用しなかった

【すべての方にうかがいます。】

Q22 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

- (1) 聞いたことがあるもの
- (2) 内容も含めて知っているもの

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 長野県婚活支援センター | 9 家庭の日(毎月第3日曜日) |
| 2 結婚支援ポータルサイト「ハピネスナビ信州」 | 10 いい育児の日(11月19日) |
| 3 ながの結婚マッチングシステム | 11 WE ラブ赤ちゃんプロジェクト |
| 4 ながの子育て家庭優待パスポート | 12 こころの健康相談統一ダイヤル |
| 5 信州やまほいく(信州型自然保育) | 13 よりそいホットライン |
| 6 信州こどもカフェ | 14 ゲートキーパー |
| 7 チャイルドライン | 15 あてはまるものはない |
| 8 児童相談所全国共通ダイヤル189 | |

Q23 結婚・出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

- 1 結婚・出産に対して前向きになった
- 2 結婚・出産に対してやや前向きになった
- 3 結婚・出産に対する気持ちに影響はない
- 4 結婚・出産に対してやや後ろ向きになった
- 5 結婚・出産に対して後ろ向きになった

Q24 結婚・子育て支援や若者支援について、県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

(例：近くに相談できる人がいない、公共機関を子連れで利用しにくい など)

※特にない方は、「特になし」とご入力ください。

自由記述

長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査報告書

令和2年9月

調査機関：株式会社インテージリサーチ

発行：長野県将来世代応援県民会議

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7207 (直通) fax 026-235-7087

ホームページアドレス <http://nagano-kosodate.net/>

メールアドレス shoushika@pref.nagano.lg.jp